鹿児島市の情報化に関するアンケート調査報告書

平成１９年３月

鹿児島市企画部情報政策課

目　次

Ｉ．調査の概要

■　調査目的

平成１４年度に策定した「鹿児島市地域ＩＴプラン２１」（計画期間：平成１５～１９年度）に掲げた施策が概ね実現する中、新たな情報化計画を平成１９年度に策定することとしている。今回実施する市民アンケートは、本市における情報通信機器やインターネットの利用状況、ＩＴ施策に関する市民ニーズ等の調査を行うもので、次期情報化計画の基礎資料とするものである。

■　調査対象

20歳以上80歳未満の鹿児島市民

■　対象者抽出方法

住民基本台帳から年齢階層別・性別により無作為抽出

	男	女	合計
20代	250人	250人	500人
30代	250人	250人	500人
40代	250人	250人	500人
50代	250人	250人	500人
60代	250人	250人	500人
70代	250人	250人	500人
合計	1,500人	1,500人	3,000人

■　調査方法

郵送配付、郵送回収

■　調査期間

平成18年9月1日(金)～平成18年9月14日(木)

■ 有効回答数

1,503件(回答率50.1%)

■ 調査結果の留意事項

- 図表中の N は回答者全員、n は限定された回答者の数（母数）であり、回答率（%）の分母である。
- 回答率は百分比の小数以下第 2 位を四捨五入しているので、合計が 100%にならない場合がある。
- 2 つ以上の回答を要する（複数回答）設問の場合、その回答比率の合計は原則として 100%を超える。
- 複数の回答率の総和は、回答者の実数の総和から算出した数値を端数処理しているため、図表中の回答率の総和とは一致しない場合がある。
- 設問によっては、本市が実施した平成 9 年度調査（以下、「前々回調査」という。）及び平成 13 年度調査（以下、「前回調査」という。）の結果と比較、分析を行った。

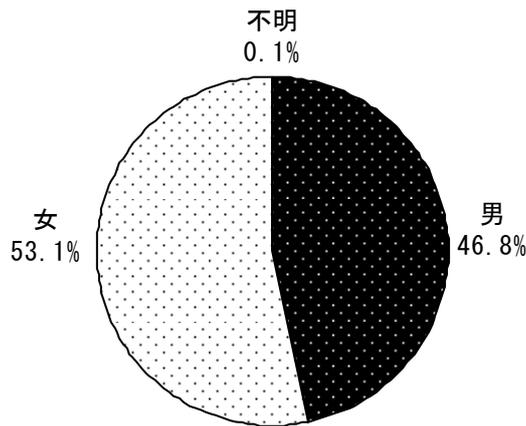
	前々回調査	前回調査
実施時期	平成 10 年 1～2 月	平成 13 年 7～8 月
調査対象者	20 歳以上 80 歳未満の鹿児島市民	20 歳以上 80 歳未満の鹿児島市民
調査方法	郵送配付、郵送回収	郵送配付、郵送回収
調査対象者数	2,000 人	4,200 人
回答数	957 件	1,972 件
回答率	47.9%	47.0%

Ⅱ．調査結果

１．回答者の基本属性

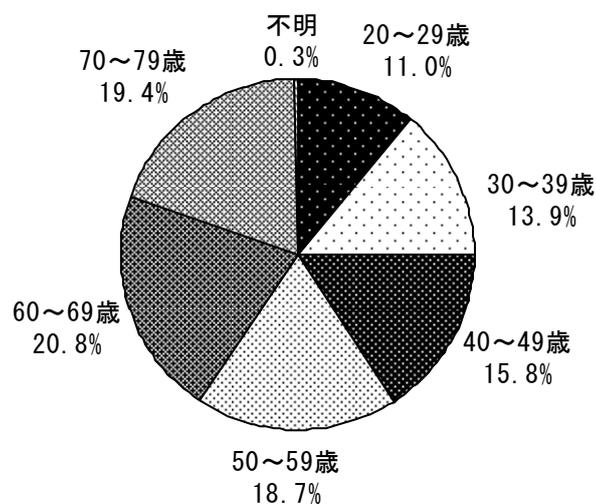
（１）性別構成

回答者の性別の比率は男性が約 47%、女性が約 53%であった。鹿児島市の男女性比は平成 18 年 9 月の住民基本台帳では 47：53 であるため同割合である。

図表 1-1　性別構成

N=1,503

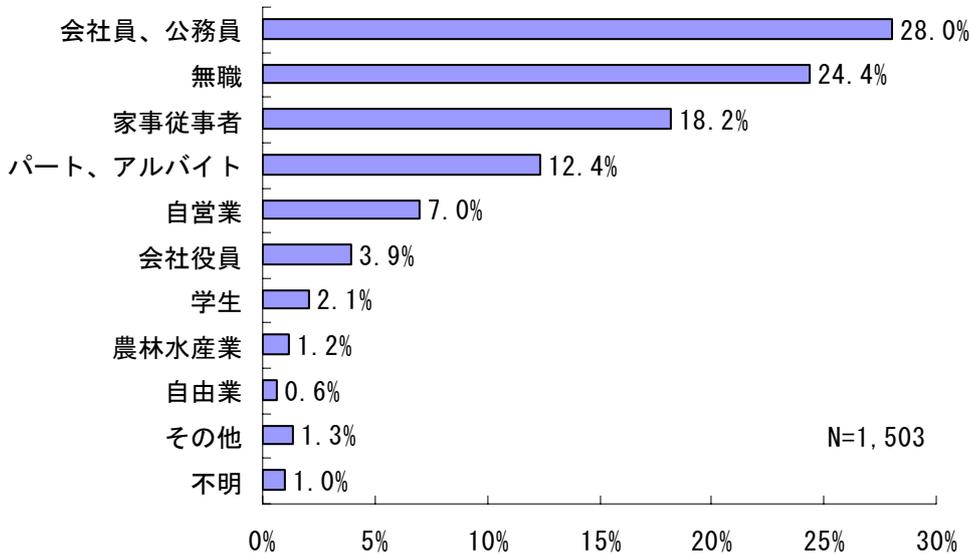
（２）年齢別構成

回答者の割合は 50～79 歳が 58.9%であった。本市おいて 20～79 歳のうちの 50～79 歳の割合は、平成 18 年 9 月の住民基本台帳では 47.2%であるため高齢者層の割合が高い。

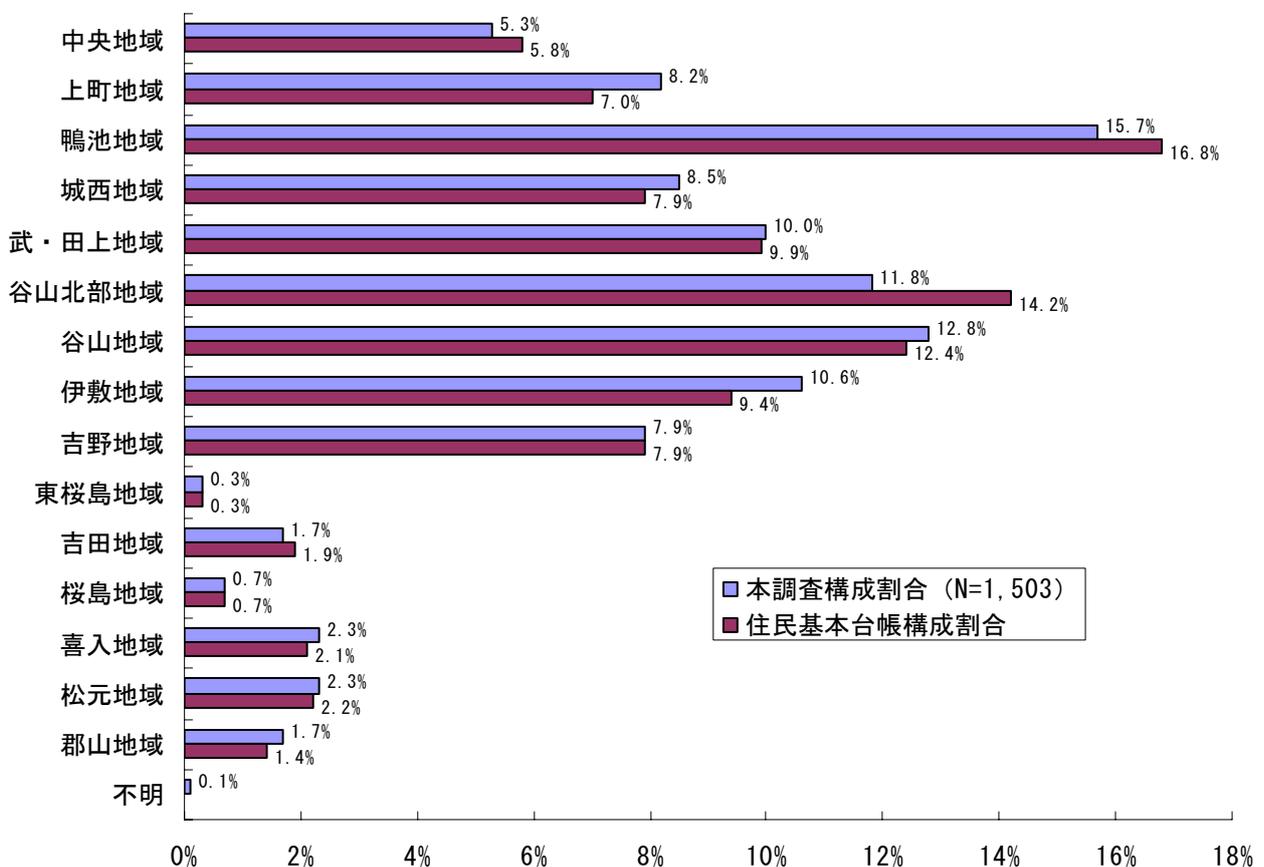
図表 1-2　年齢別構成

N=1,503

（３）職業別構成

「会社員、公務員」の割合が 28.0%と最も多く、次いで「無職」が 24.4%、「家事従事者」が 18.2%であった。「会社員、公務員」、「無職」、「家事従事者」の合計で全体の約 7 割を占めている。

図表 1-3　職業別構成

（４）地域別構成

平成 18 年 9 月の住民基本台帳の地区別構成と比較すると同程度の構成割合である。

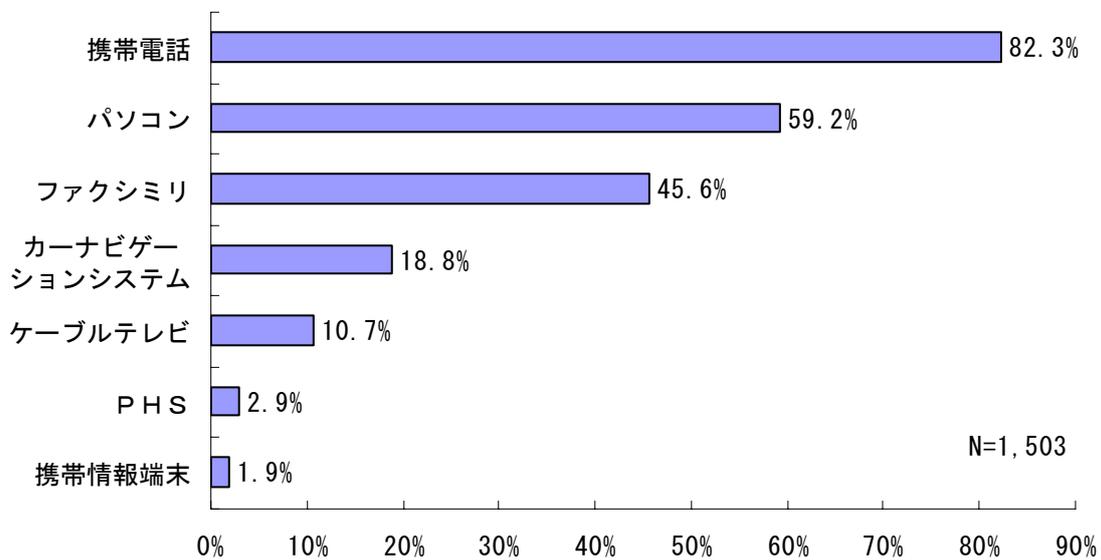
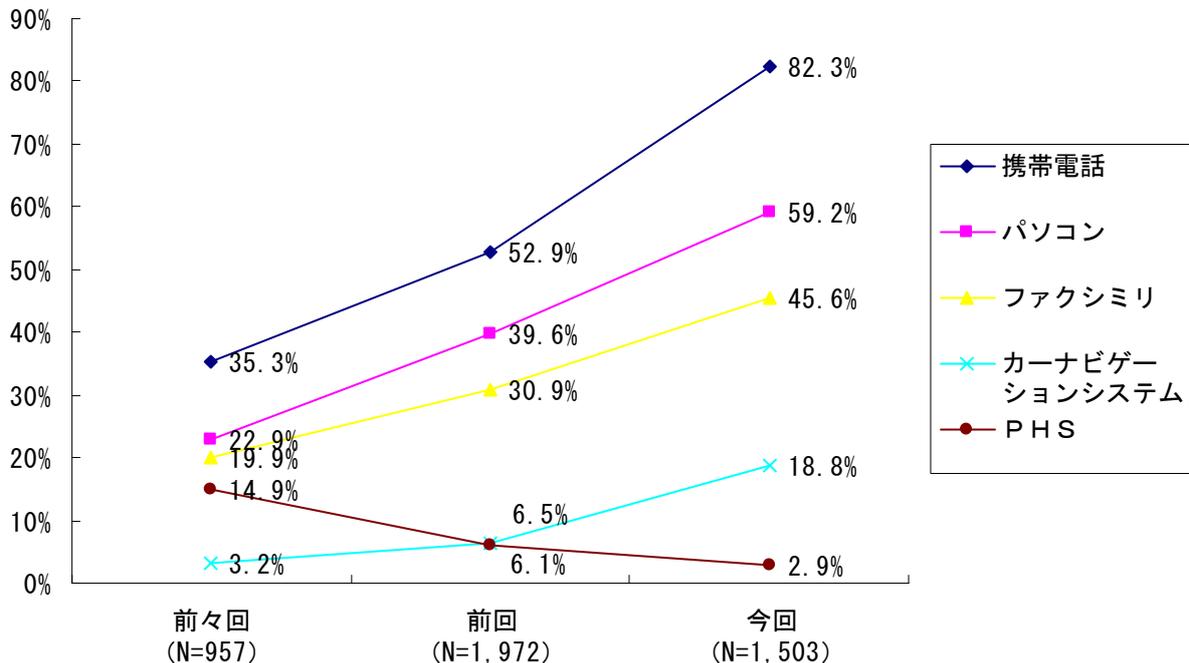
図表 1-4　地域別構成（本調査と住民基本台帳との比較）

２．家庭での情報通信機器の保有状況及びインターネットの利用状況

（１）情報通信機器の保有率

問１．あなたのご家庭では、次の情報通信機器を保有していますか。（ご家族のうち、どなたかが保有しているものも含めます。）＜複数回答＞

家庭における情報通信機器の保有率は、「携帯電話」が 82.3%、次いで「パソコン」が 59.2%、「ファクシミリ」が 45.6%であった。「カーナビゲーションシステム」、「ケーブルテレビ」、「ＰＨＳ」、「携帯情報端末」の家庭における保有率はいずれも 2 割を下回っている（図表 2-1 参照）。

保有率の推移をみると、「ＰＨＳ」以外の情報通信機器は保有率が増加している。前回調査から最も保有率が増加したのは「携帯電話」で 29.4 ポイントの増加となっている。次いで「パソコン」が 19.6 ポイント、「ファクシミリ」が 14.7 ポイント、「カーナビゲーションシステム」が 12.3%の増加となっている。なお、「ケーブルテレビ」、「携帯情報端末」は今回初調査である（図表 2-2 参照）。

図表 2-1　情報通信機器の保有率

図表 2-2　情報通信機器の保有率の推移

（２）自宅でパソコンを利用してのインターネット利用率

問２．ご家庭でのインターネットの利用状況についておたずねします。

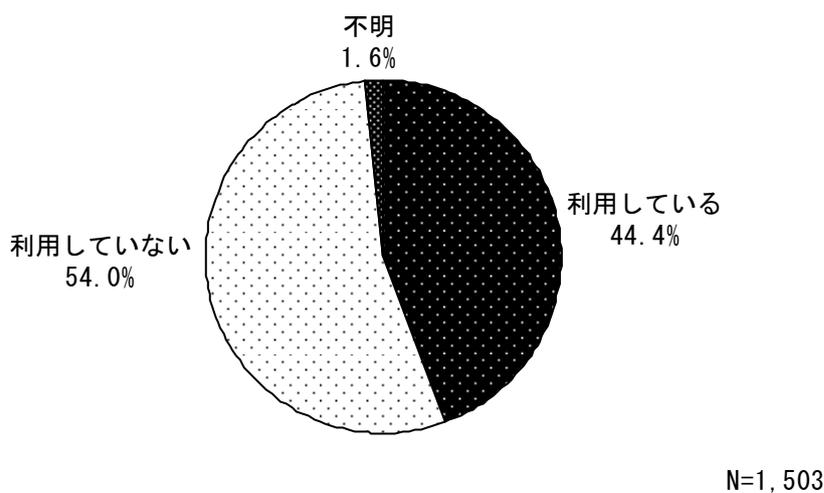
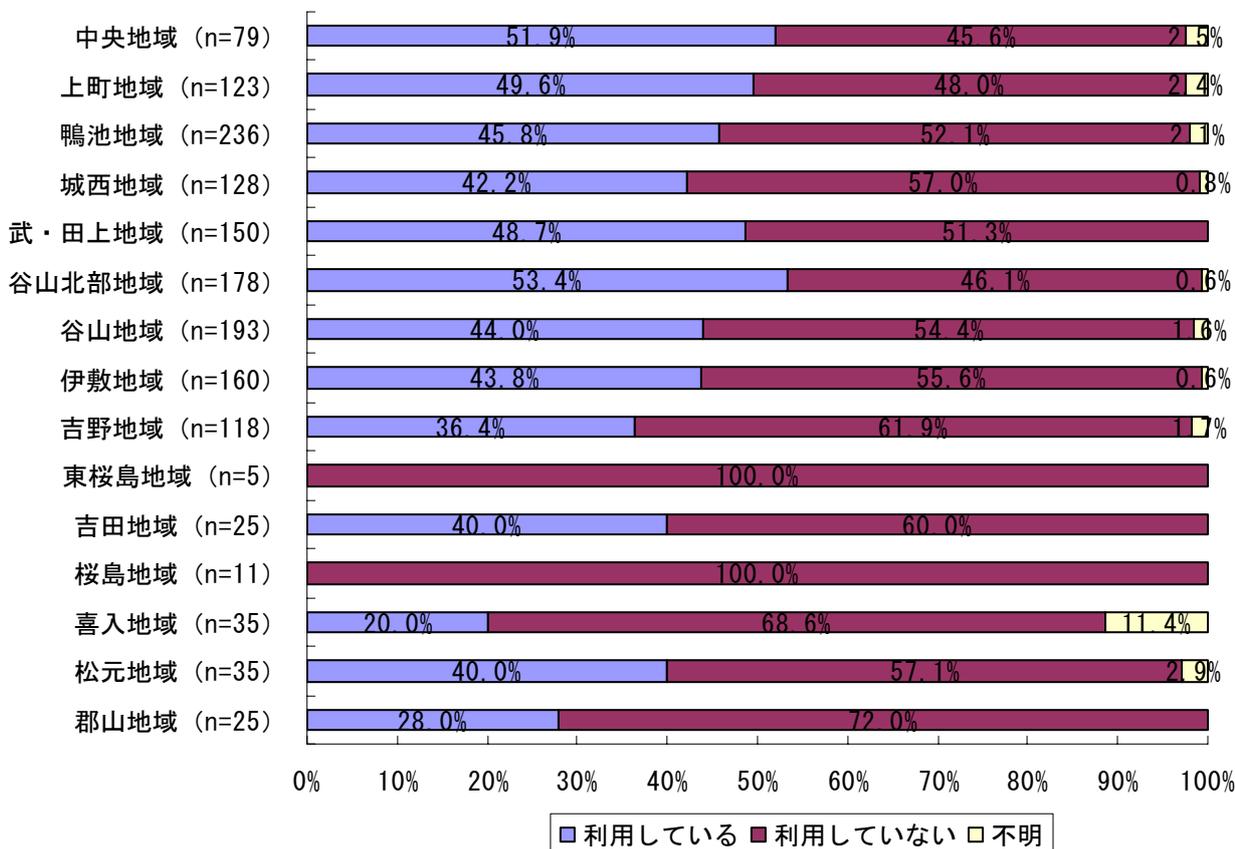
（１）．「自宅」で「パソコン」を使ってインターネットを利用していますか。（ご家族のうち、どなたかが利用している場合も含めます。また、携帯電話の端末のみでインターネットを利用する場合は含みません。）＜単一回答＞

自宅でパソコンを使ってインターネットを利用している割合は､44.4%で 5 割を下回った(図表 2-3 参照)。地域別にみると、「東桜島地域」と「桜島地域」が「利用している」が 0%であった。但し、回答数が少ないため単純比較できない（図表 2-4 参照)。

図表 2-3　自宅でのパソコン利用によるインターネットの利用状況

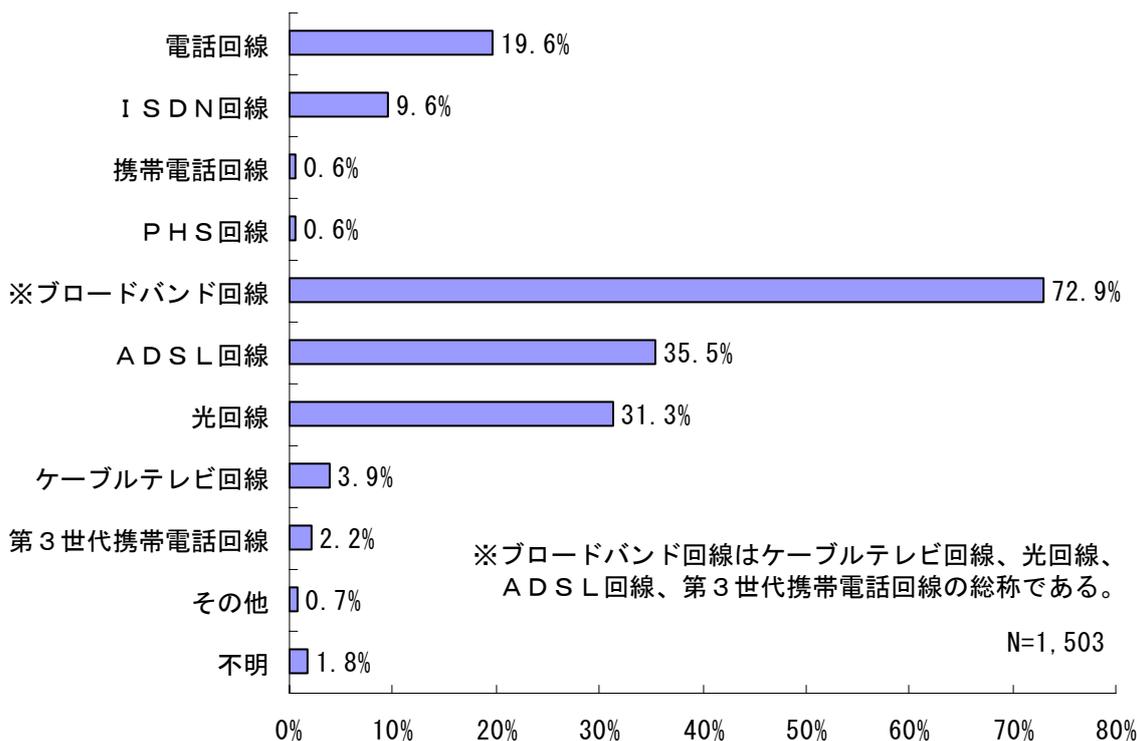
N=1,503

図表 2-4　地域別のインターネットの利用状況

地域	利用している	利用していない	不明
中央地域（n=79）	51.9%	45.6%	2.5%
上町地域（n=123）	49.6%	48.0%	2.4%
鴨池地域（n=236）	45.8%	52.1%	2.1%
城西地域（n=128）	42.2%	57.0%	0.8%
武・田上地域（n=150）	48.7%	51.3%	
谷山北部地域（n=178）	53.4%	46.1%	0.6%
谷山地域（n=193）	44.0%	54.4%	1.6%
伊敷地域（n=160）	43.8%	55.6%	0.6%
吉野地域（n=118）	36.4%	61.9%	1.7%
東桜島地域（n=5）		100.0%	
吉田地域（n=25）	40.0%	60.0%	
桜島地域（n=11）		100.0%	
喜入地域（n=35）	20.0%	68.6%	11.4%
松元地域（n=35）	40.0%	57.1%	2.9%
郡山地域（n=25）	28.0%	72.0%	

（３）自宅でパソコンを利用してのインターネット接続回線

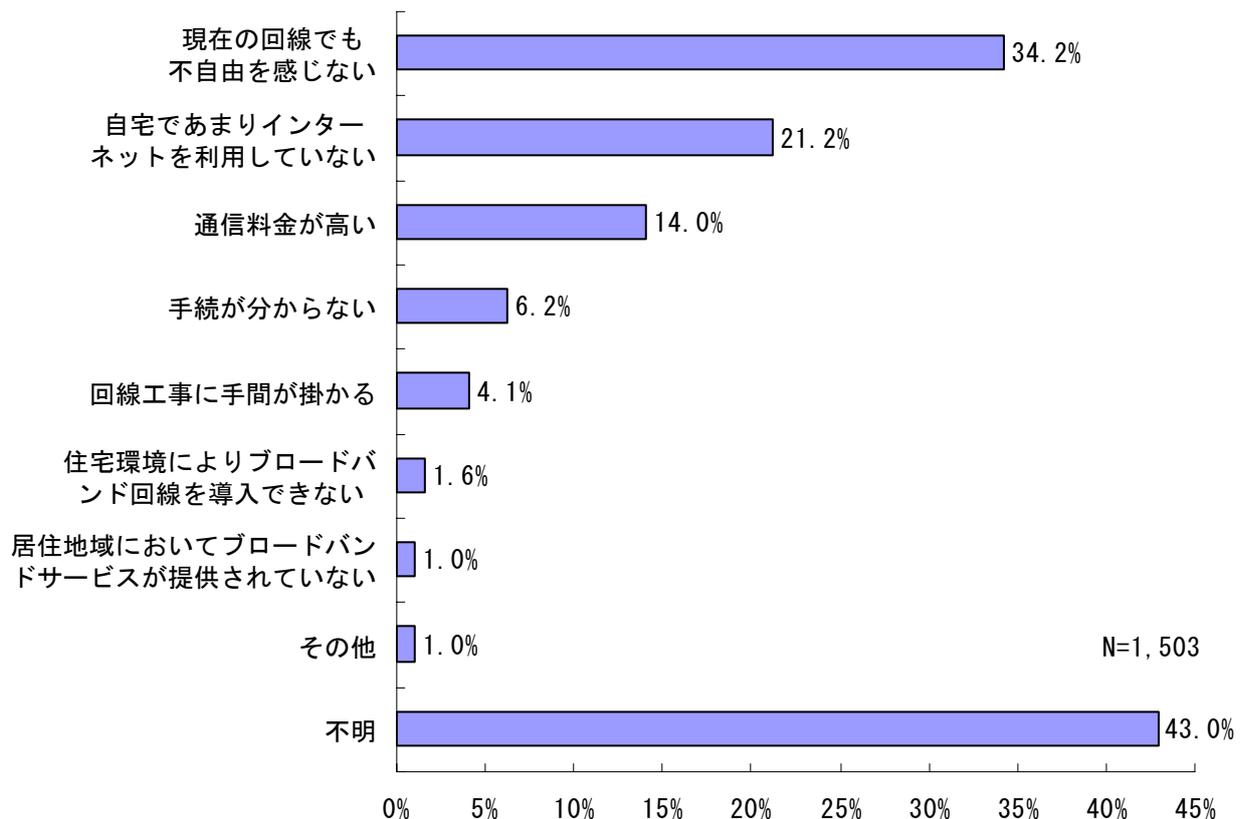
問２（２）．問２（１）で「１．利用している」を選んだ方におたずねします。「自宅」で「パソコン」を使って、どのような回線でインターネットに接続していますか。<複数回答>

自宅でパソコンを使ってインターネット接続をする家庭のうち、最も利用されている接続回線は、「ＡＤＳＬ回線」であり、その利用率は35.5%であった。次いで「光回線」が31.3%、「電話回線」が19.6%であった。「光回線」､「ＡＤＳＬ回線」等のブロードバンド回線の利用率が72.9%であった。

図表 2-5　自宅でのパソコンによるインターネット接続回線

（４）ブロードバンド回線を導入しない理由

問２（３）. 問２（２）で「ブロードバンド回線」に１つも〇をつけなかった方におたずねします。 ブロードバンド回線を導入しない理由は何ですか。<複数回答>

自宅でブロードバンド回線を利用していない家庭のブロードバンド回線を導入しない理由は、「現在の回線でも不自由を感じない」が最も多く 34.2%であった。次いで「自宅であまりインターネットを利用しない」が 21.2%、「通信料金が高い」が 14.0%であった。また、「不明」が 4 割を超えている。

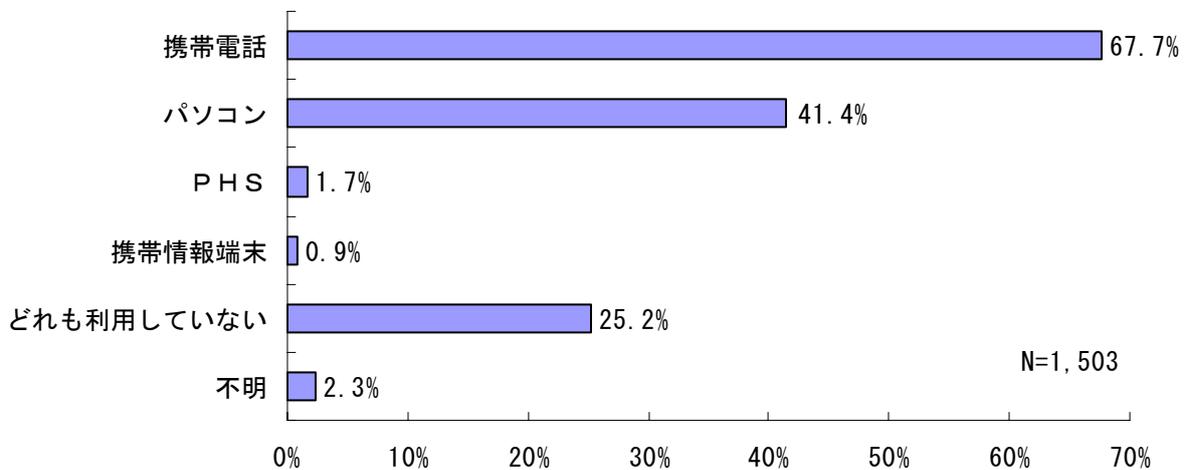
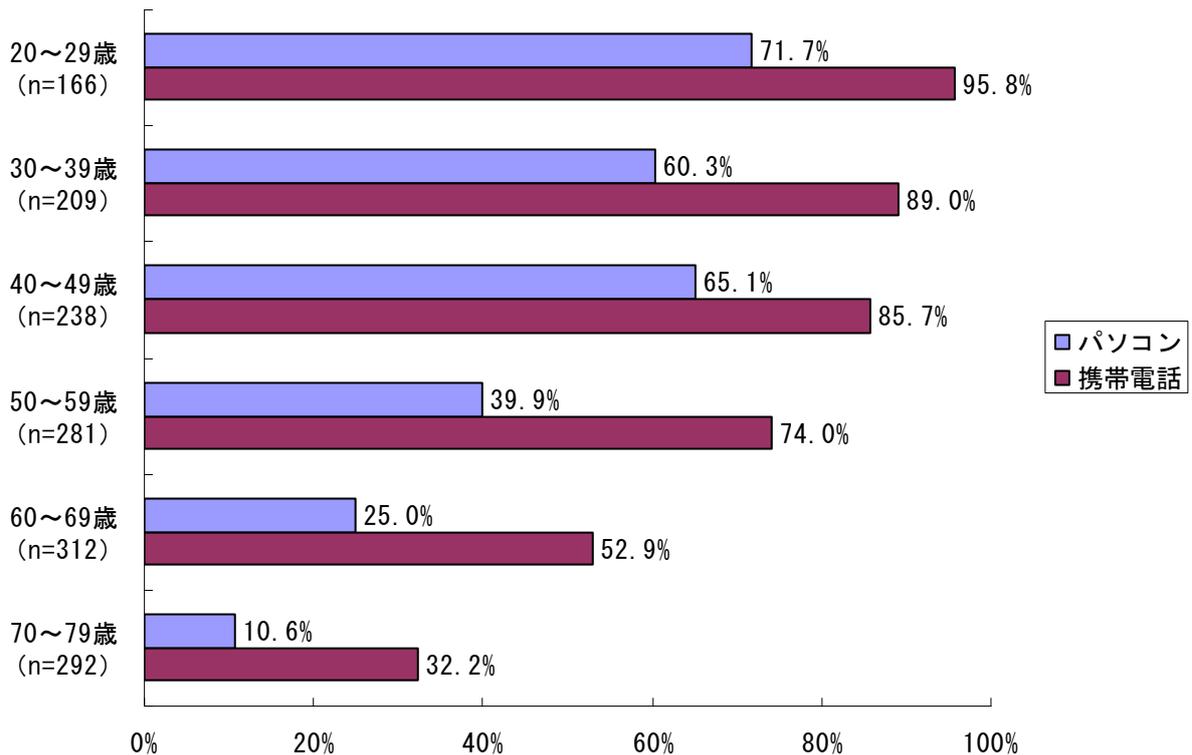
図表 2-6　ブロードバンド回線を導入しない理由

３．個人の情報通信機器の利用状況及びインターネットの利用状況

（１）情報通信機器の利用率

問３．あなたは、次の情報通信機器を利用していますか。<複数回答>

「携帯電話」の利用率が 67.7%と最も多く、次いで「パソコン」が 41.4%であった。「どれも利用していない」が 25.2%で 4 人に 1 人が「携帯電話」、「パソコン」、「ＰＨＳ」、「携帯情報端末」のいずれも利用していなかった（図表 3-1 参照）。

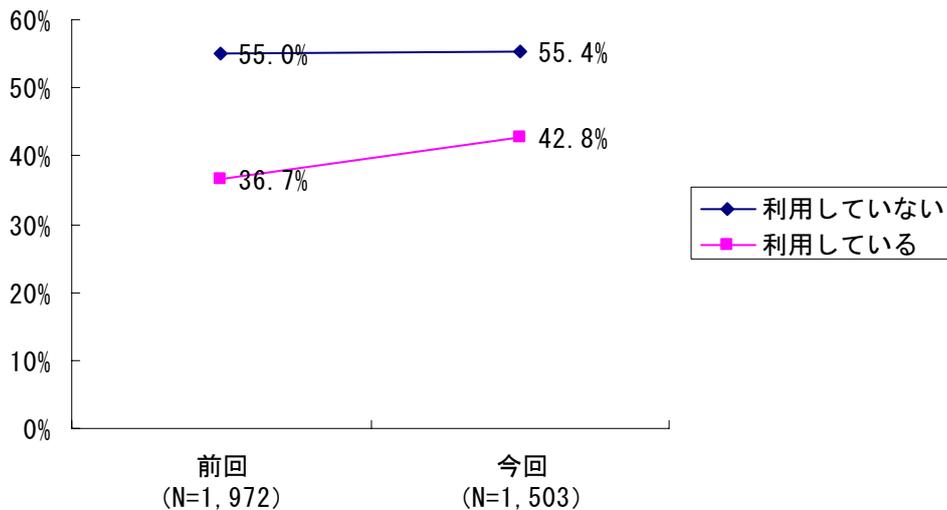
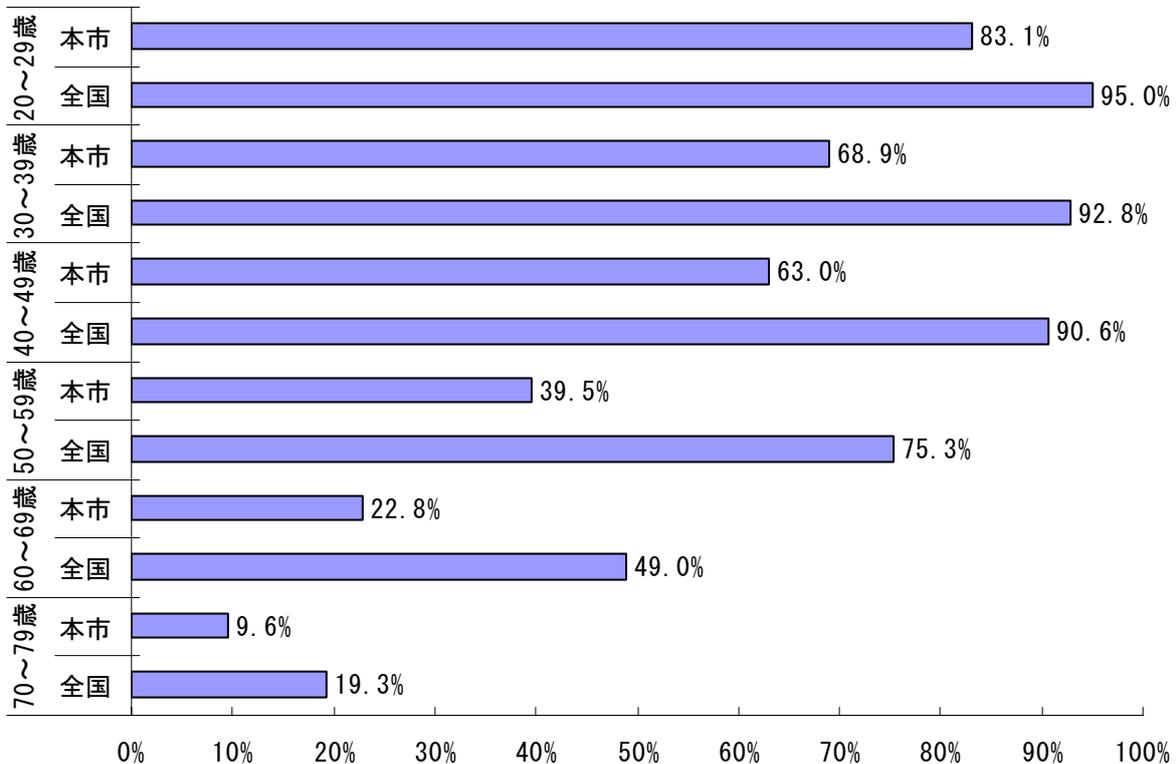
「パソコン」、「携帯電話」を年齢階層別に見ると、「パソコン」は 20 代から 40 代の利用率が 6 割を超えているが、50 代以上は利用率が 4 割を下回っている。「携帯電話」は 20 代から 50 代の利用率が 7 割を超えている。60 代の利用率も 5 割を超えているが、70 代の利用率は 3 割である。「パソコン」・「携帯電話」とも 20 代と 70 代の利用率の差が 60 ポイント程度あり、年齢による格差が顕著である（図表 3-2 参照）。

図表 3-1　情報通信機器の利用率

図表 3-2　年齢階層別の情報通信機器の利用率

（２）インターネット利用率

問４．インターネットの利用状況についておたずねします。 　　（１）．あなたは、インターネットを利用していますか。<単一回答>

インターネットの利用状況について推移を見ると、「利用していない」は、ほぼ前回調査と変わりはなく 55.4%であった。「利用している」は、6.1 ポイント増加し 42.8%であった（図表 3-3 参照）。

インターネットの利用率について年齢階層に別に全国平均（「平成 17 年度通信利用動向調査」総務省実施）との比較を行った。どの年齢層においても、全国平均を下回っているが、50 代の全国平均との差が、35.8 ポイントと最も大きい（図表 3-4 参照）。

図表 3-3　インターネット利用率の推移

図表 3-4　年齢階層別のインターネット利用率（本調査と全国平均との比較）

本調査n=（20～29歳:166、30～39歳:209、40～49歳:238、50～59歳:281、60～69歳:312、70～79歳:392）

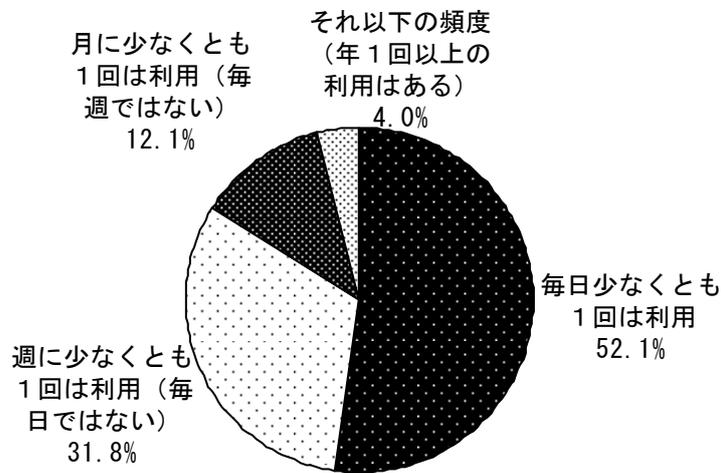
（３）インターネットの利用頻度

問４（２）．問４（１）で「１．利用している」を選んだ方におたずねします。使用した場所に関係なく、インターネットをどれくらいの頻度で利用していますか。＜単一回答＞

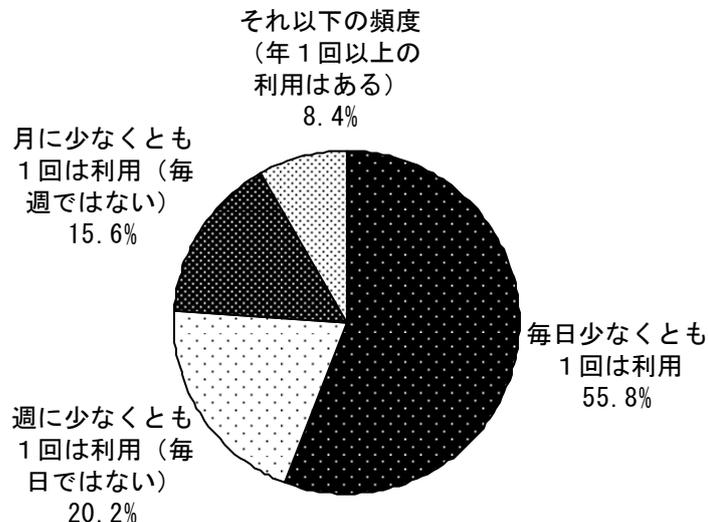
「パソコン」からの利用は、インターネット利用者のうち、「毎日少なくとも１回は利用」する割合は52.1%であった。またこれに「週に少なくとも１回は利用」する人を加えると、全体の約8割超（83.9%）が週に1回以上の頻度で利用していることになる（図表3-5参照）。

「携帯電話」からの利用は、インターネット利用者のうち、「毎日少なくとも１回は利用」する割合は55.8%であった。またこれに「週に少なくとも１回は利用」する人を加えると、全体の約8割弱（76.0%）が週に1回以上の頻度で利用していることになる（図表3-6参照）。

■パソコン

図表3-5　パソコンインターネットの利用頻度

N=1,503

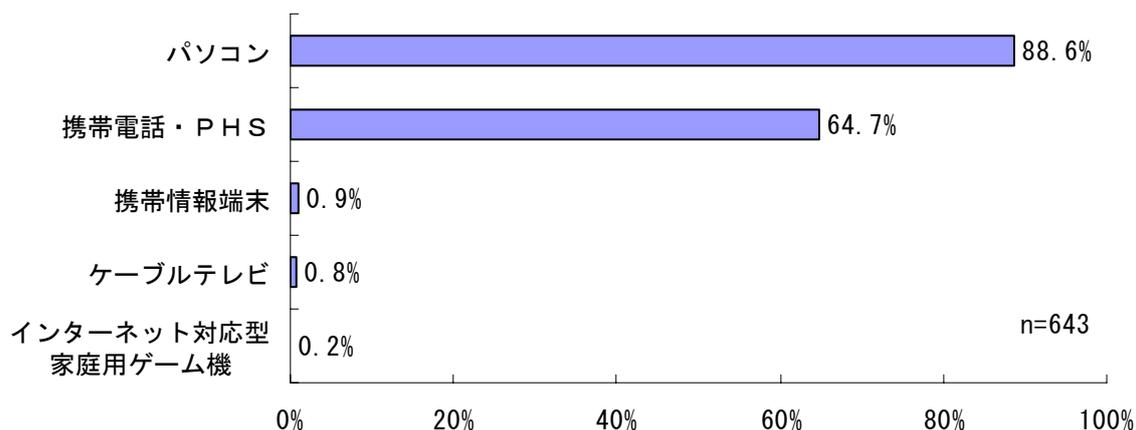
■携帯電話

図表3-6　携帯電話インターネットの利用頻度

N=1,503

（４）インターネットの利用機器

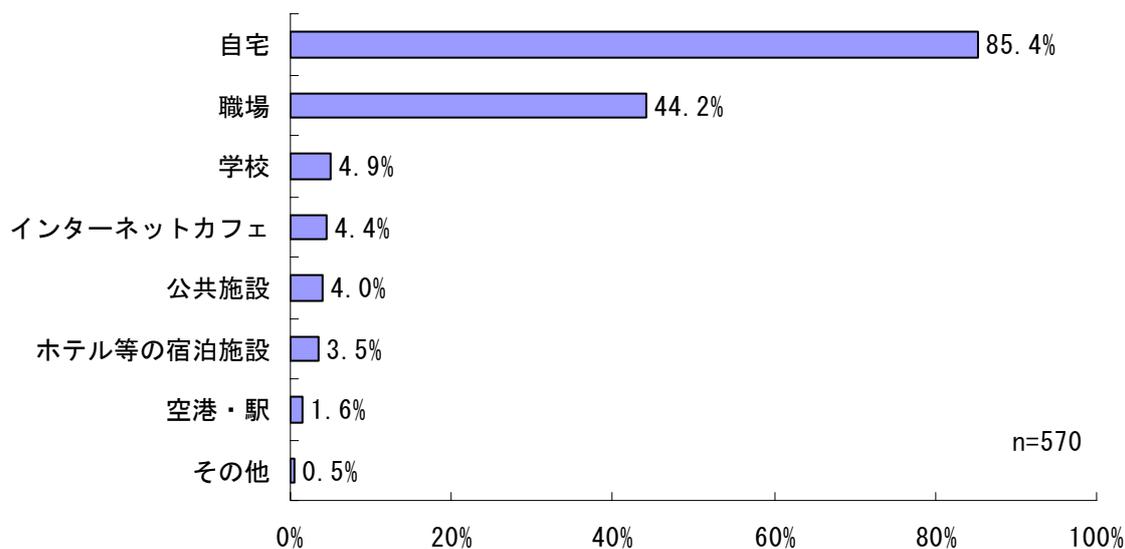
問４（３）．問４（１）で「１．利用している」を選んだ方におたずねします。どのような機器でインターネットを利用していますか。<複数回答>

インターネット利用者の利用機器を見ると、「パソコン」が利用者の 88.6%で最も多く、次いで「携帯電話・ＰＨＳ」が 64.7%であった。「携帯情報端末」、「ケーブルテレビ」、「インターネット対応型家庭用ゲーム機」でインターネットを利用する人は 1%を下回った。

図表 3-7 インターネットの利用機器

（５）パソコンインターネット利用の場所

問４（４）．問４（３）で「パソコン」を選んだ方におたずねします。パソコンでインターネットを利用した場所はどこですか。<複数回答>

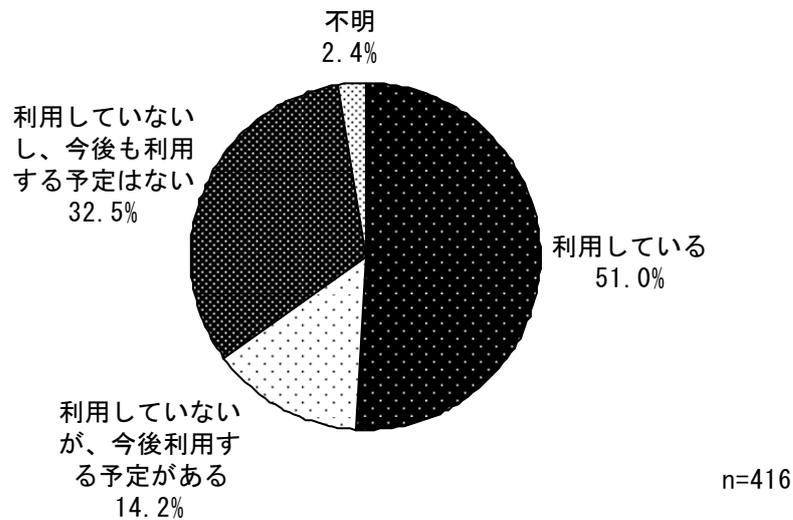
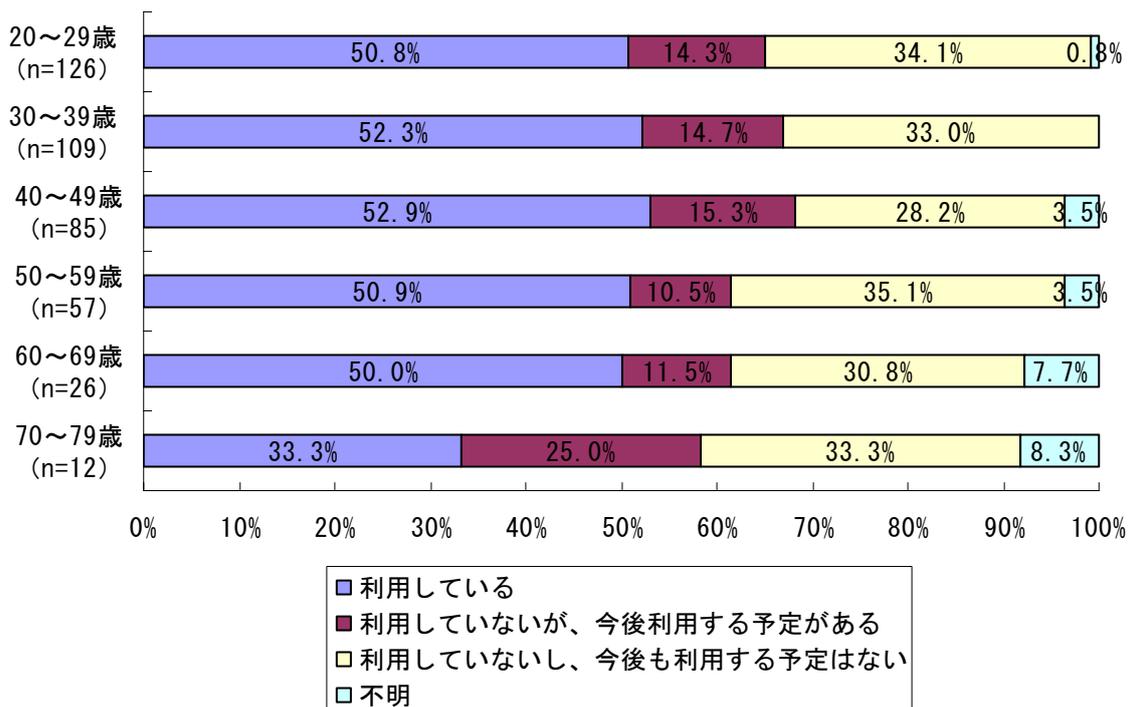
インターネット利用者の利用場所を見ると、「自宅」が利用者の 85.4%で最も多く、次いで「職場」が 44.2%であった。「学校」、「インターネットカフェ」、「公共施設」、「ホテル等の宿泊施設」、「空港・駅」はいずれも 5%を下回った。

図表 3-8　パソコンからのインターネットの利用場所

（６）パケット定額制サービスの利用状況

問４（５）．問４（３）で「携帯電話・ＰＨＳ」を選んだ方におたずねします。携帯電話・ＰＨＳのパケット定額料金制サービスを利用していますか。＜単一回答＞

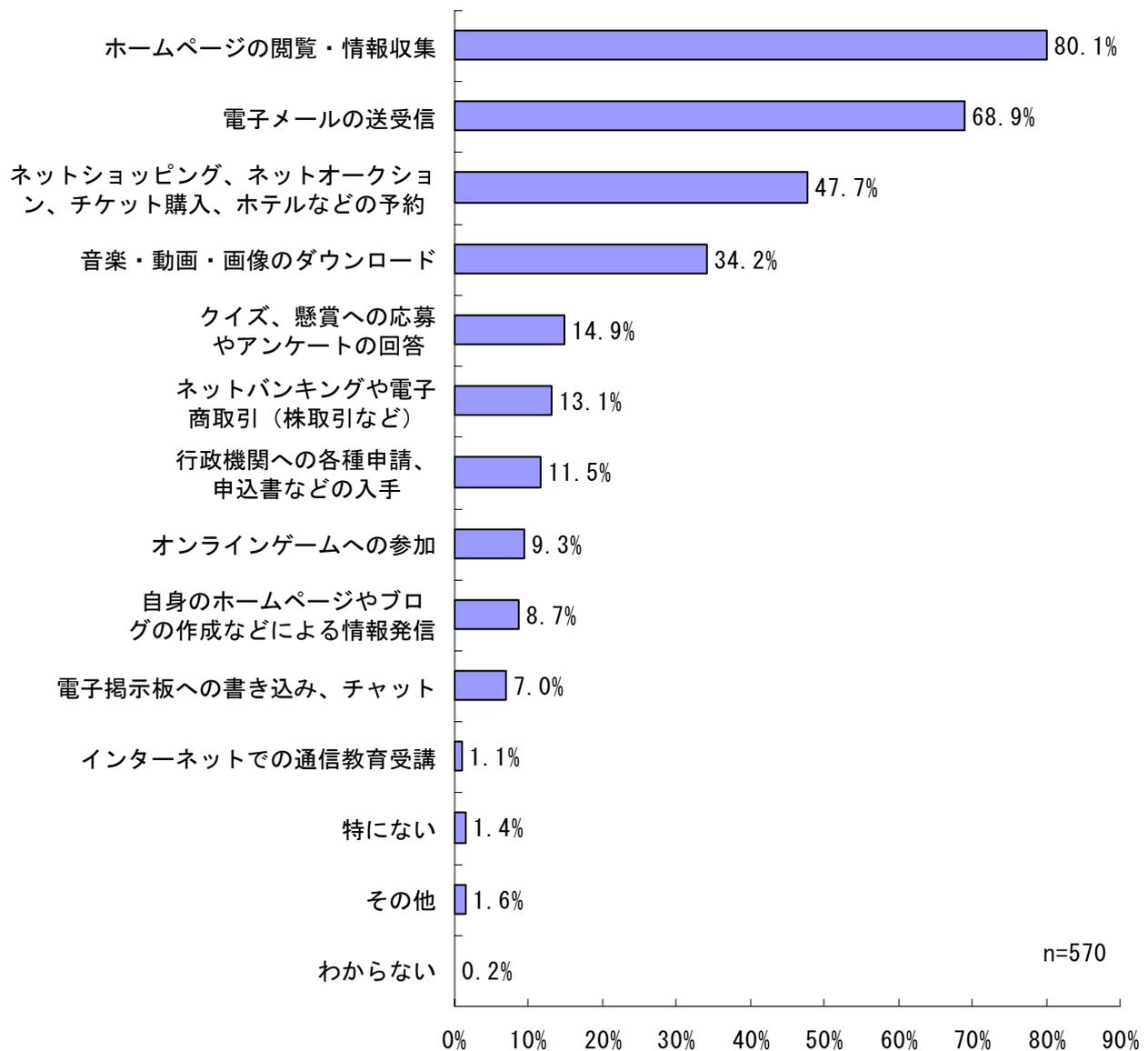
携帯電話・ＰＨＳのインターネット利用者におけるパケット定額制サービスの利用は、「利用している」が51.0%で5割を上回った。「利用していないが今後利用する予定がある」が14.2%、「利用していないし、今後も利用する予定はない」が32.5%であった（図表3-9参照）。

年齢階層別に見ると、「利用している」が70代を除き5割を上回り、「利用していないし、今後も利用する予定はない」は各年代とも概ね3割程度であった（図表3-10参照）。

図表3-9 パケット定額制サービスの利用状況

図表3-10　年齢階層別のパケット定額制サービスの利用状況

（７）インターネットで利用するサービス

問５．問４（１）で「１．利用している」を選んだ方におたずねします。どのようなインターネットのサービスを利用していますか。<複数回答>

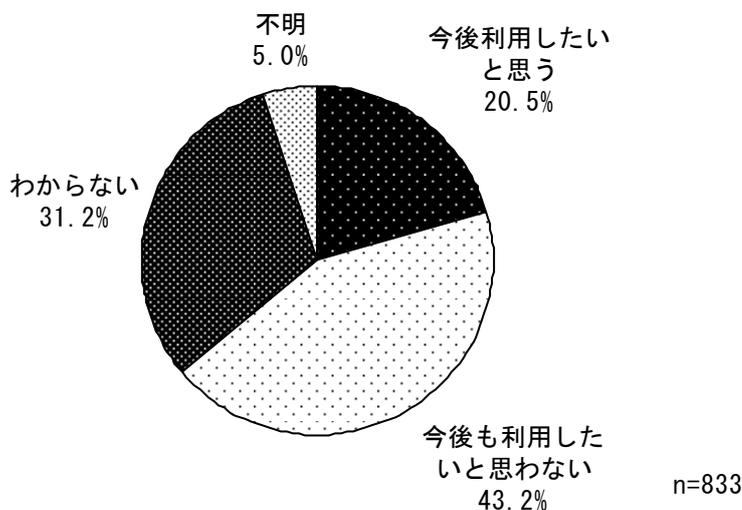
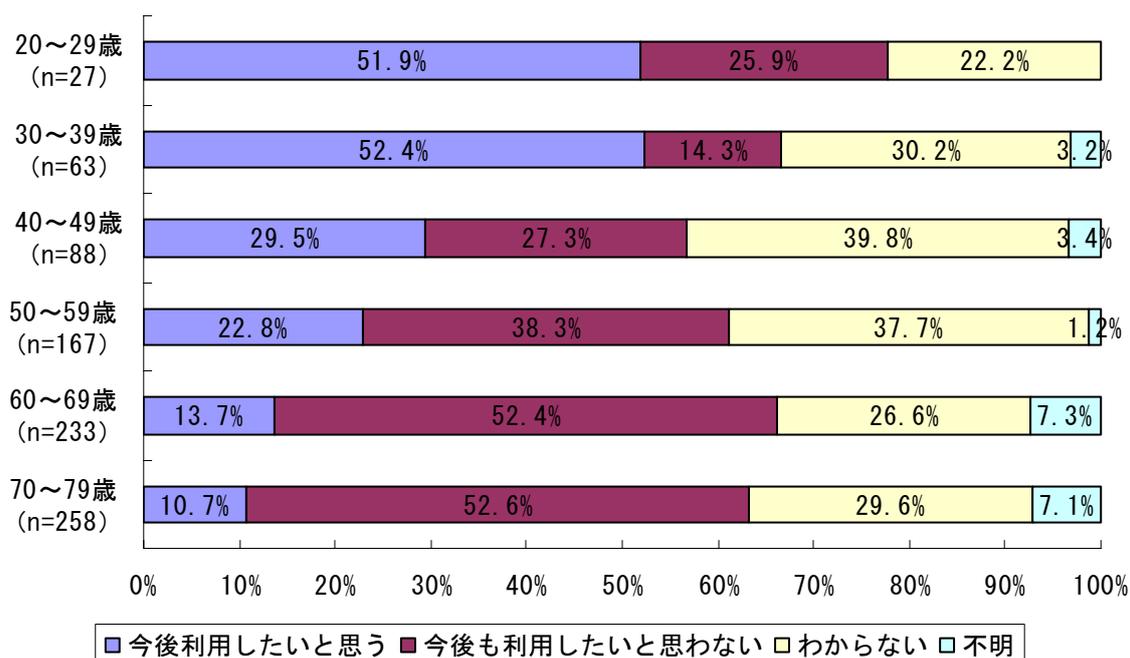
「ホームページの閲覧・情報収集」が 80.1%であった。次いで「電子メールの送受信」が 68.9%、「ネットショッピング、ネットオークション、チケット購入、ホテルなどの予約」が 47.7%、「音楽・動画・画像のダウンロード」が 34.2%であった。「行政機関への各種申請、申込書などの入手」は、11.5%で、その他のサービスも 2 割を下回った。

図表 3-11　インターネットで利用するサービス

（８）インターネットの利用意向

問６．問４（１）で「２．利用していない」を選んだ方におたずねします。今後インターネットを利用したいと思いますか。＜単一回答＞

インターネット非利用者のうち、「今後利用したいと思う」が 20.5%、「今後も利用したいと思わない」が 43.2%で「今後利用したいと思う」を 22.7 ポイント上回った（図表 3-12 参照）。

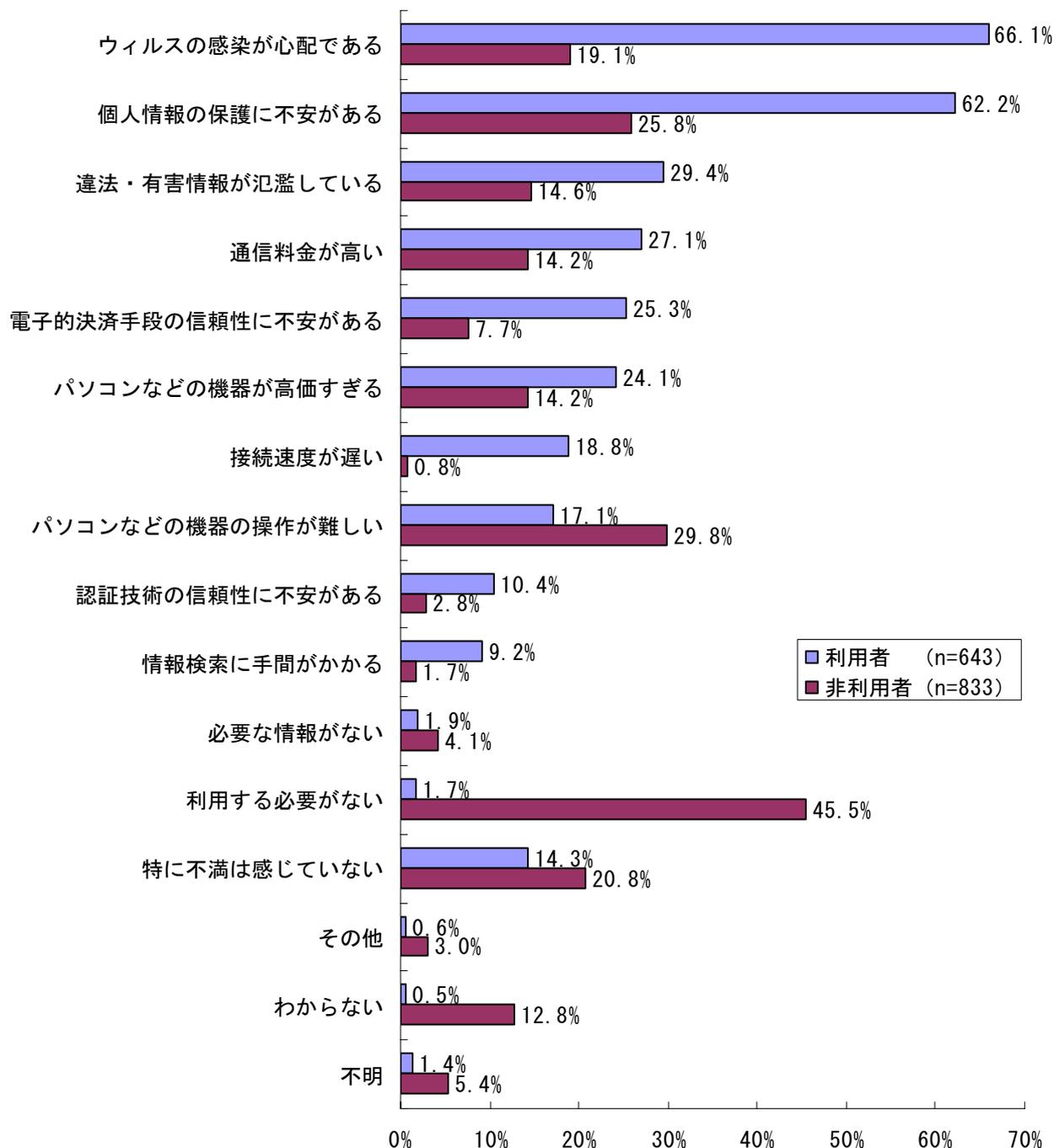
年齢階層別に見ると、20 代から 30 代は、「今後利用したいと思う」が 5 割を上回ったが、40 代以上は 3 割を下回った。また、60 代以上は「今後も利用したいと思わない」が 5 割を上回った（図表 3-13 参照）。

図表 3-12　インターネットの利用意向

図表 3-13　年齢階層別のインターネットの利用意向

（９）インターネットを利用して感じる不安や不満、インターネットを利用しない理由

問７．すべての方におたずねします。インターネットを利用していて感じる不安や不満、または利用していない理由は何ですか。<複数回答>

インターネットを利用して感じる不安や不満で多かった理由は、「ウィルス感染が心配である」で66.1%であった。次いで「個人情報の保護に不安がある」が62.2%であった。

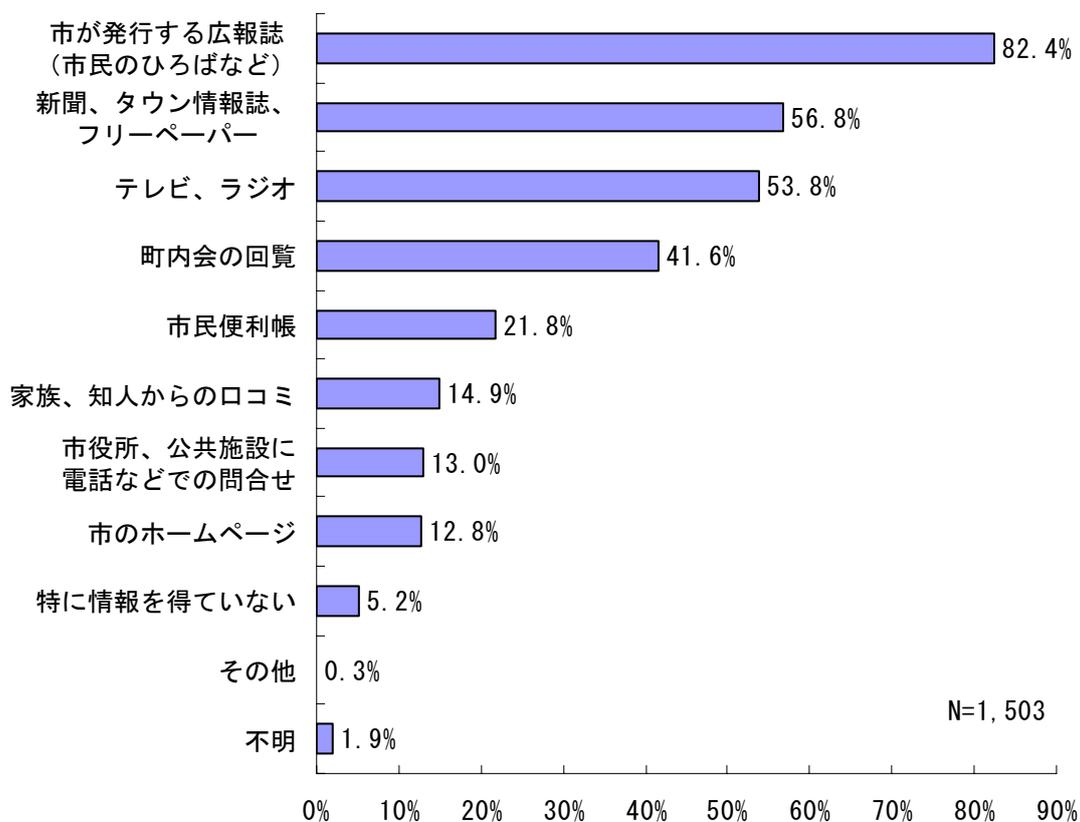
インターネットを利用しない理由で最も多かった理由は、「利用する必要がない」で45.5%であった。次いで「パソコンなどの操作が難しい」が29.8%、「個人情報の保護に不安がある」が25.8%であった。

図表 3-14　インターネットを利用して感じる不安や不満、インターネットを利用しない理由

４．鹿児島市が発信する行政情報の提供方法

（１）行政情報の入手方法

問８．あなたは、鹿児島市が発信する行政情報を、現在、どのような方法で入手していますか。 ＜複数回答＞

鹿児島市が発信する行政情報の入手方法として最も多いのは、「市が発行する広報誌（市民のひろば)」が 82.4%で他を大きく上回った。次いで、「新聞、タウン情報誌、フリーペーパー」で 56.8%、「テレビ、ラジオ」が 53.8%で 5 割超であった。従来の紙媒体や放送による行政情報の入手が多い状況である。

図表 4-1　行政情報の入手手段の状況

（２）必要としているまたは関心のある行政情報

問９．あなたが現在必要としている、または関心のある市の情報は、どのような情報ですか。
＜複数回答＞

「住民票・年金・税金など暮らしの情報」が最も多く 47.7%であった。次いで「保健・福祉に関する情報」が 40.3%、「公営企業（市立病院、市電・市バス、水道・下水道、桜島フェリー）に関する情報」が 38.6%であった。「市の財政や組織などに関する情報」、「市議会に関する情報」、「ボランティア活動に関する情報」、「市の統計・調査に関する情報」、「入札・工事に関する情報」は１割を下回った（図表 4-2 参照）。

図表 4-2　必要としている、または関心のある行政情報

項目	割合
住民票・年金・税金などの暮らしの情報	47.7%
保健・福祉に関する情報	40.3%
公営企業（市立病院、市電・市バス、水道・下水道、桜島フェリー）に関する情報	38.6%
市のイベントに関する情報	36.4%
各種相談や窓口に関する情報	33.8%
市の施設に関する情報	32.8%
ごみ分別・リサイクルなど環境問題に関する情報	31.1%
市民講座に関する情報	27.9%
防災・防犯に関する情報	25.5%
観光に関する情報	20.4%
教育・文化に関する情報	20.1%
市の施策や計画に関する情報	14.4%
市の経済・産業に関する情報	10.1%
市の財政や組織などに関する情報	9.5%
市議会に関する情報	9.1%
ボランティア活動に関する情報	7.9%
国際交流に関する情報	5.5%
市の統計・調査に関する情報	5.4%
入札・工事に関する情報	4.1%
特にない	9.5%
その他	1.3%
わからない	2.0%
不明	2.6%

（３）市ホームページの利用経験及び評価

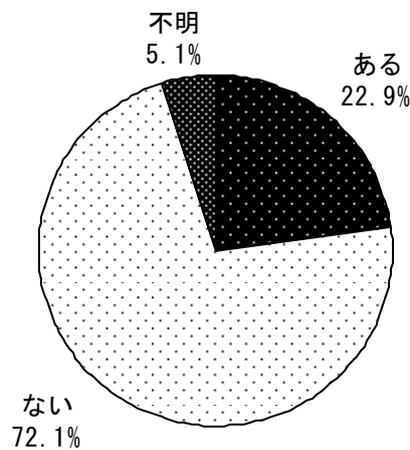
問 10. あなたは、鹿児島市のホームページを見たことがありますか。＜単一回答＞

パソコン版のホームページの利用経験者は 22.9%、携帯電話版のホームページの利用経験者は 3.7%と低く、パソコン版、携帯電話版ともホームページの利用経験者が少ない結果となった（図表 4-3、図表 4-4 参照）。

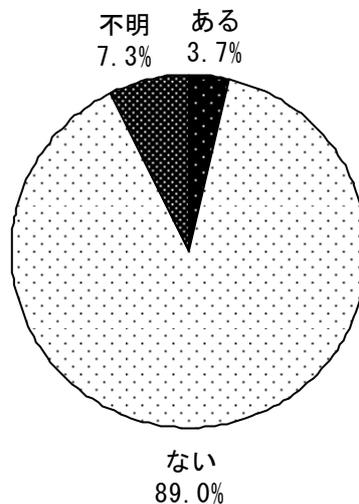
ホームページに対する満足度としては、利用経験者のうち、「やや不満」・「不満」を合わるとパソコン版が 17.5%、携帯電話版は 23.6%で、パソコン版、携帯電話版とも不満と感じている割合は 2 割程度であった（図表 4-5、図表 4-7 参照）。

パソコン版、携帯電話版とも不満を感じている理由は、「みづらい」と「情報がどこにあるか分からない」が上位であった（図表 4-6、図表 4-8 参照）。

■パソコン版

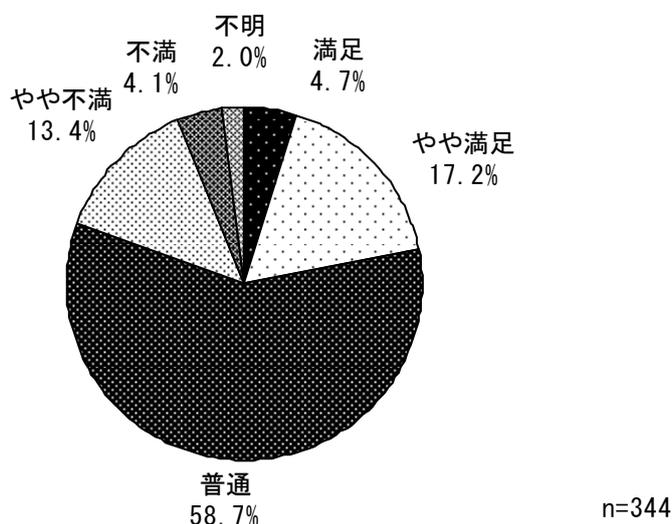
図表 4-3　市のパソコン版ホームページ利用経験

N=1,503

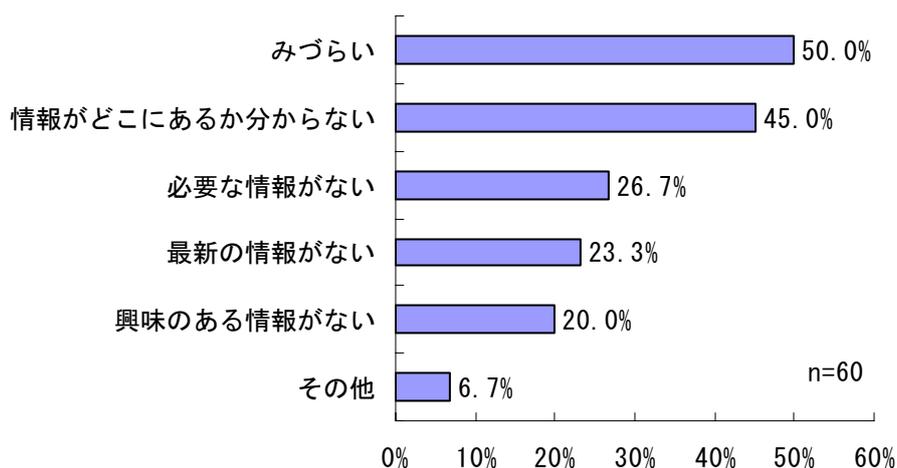
■携帯電話版

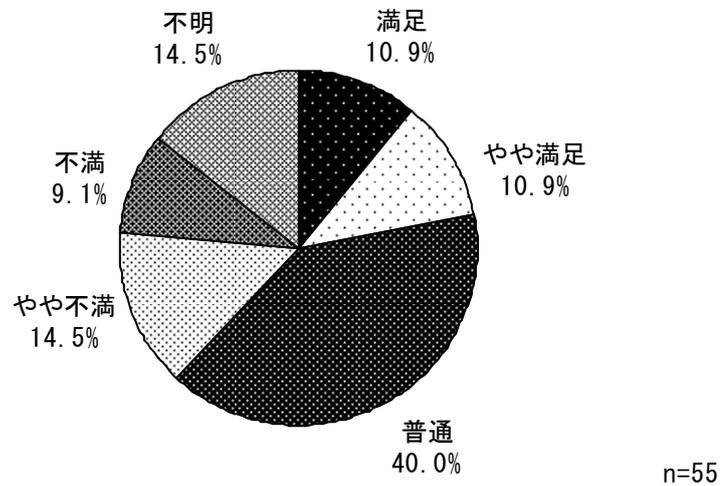
図表 4-4　市の携帯電話版ホームページ利用経験

N=1,503

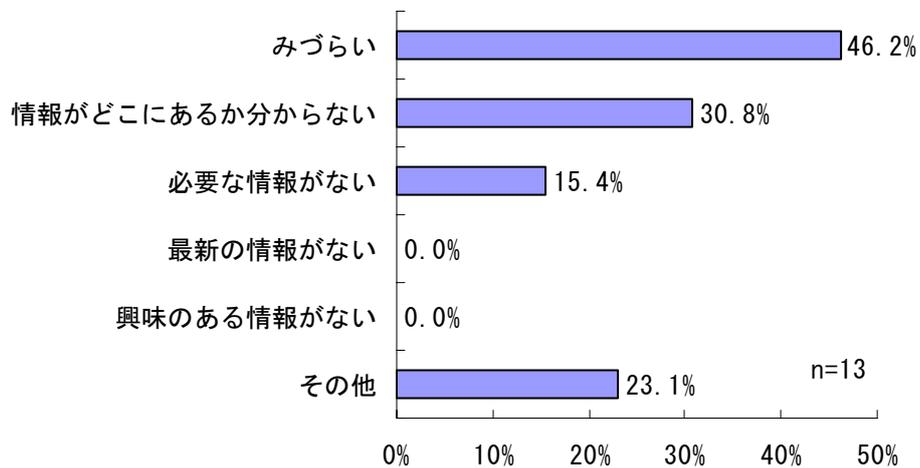
問 11. 問 10 で「１．ある」を選んだ方におたずねします。鹿児島市のホームページに対する評価をパソコン版、携帯電話版ごとにお聞かせください。

（１）.「パソコン版ホームページ」を見たことがある方におたずねします。ホームページの満足度について、お答えください。<単一回答>

図表 4-5　市のパソコン版ホームページの満足度

問 11（２）. 問 11（１）で「４．やや不満」、「５．不満」を選んだ方におたずねします。満足できない理由は何ですか。<複数回答>

図表 4-6　市のパソコン版ホームページの満足できない理由

問 11（３）.「携帯電話版ホームページ」を見たことがある方におたずねします。ホームページの満足度について、お答えください。＜単一回答＞

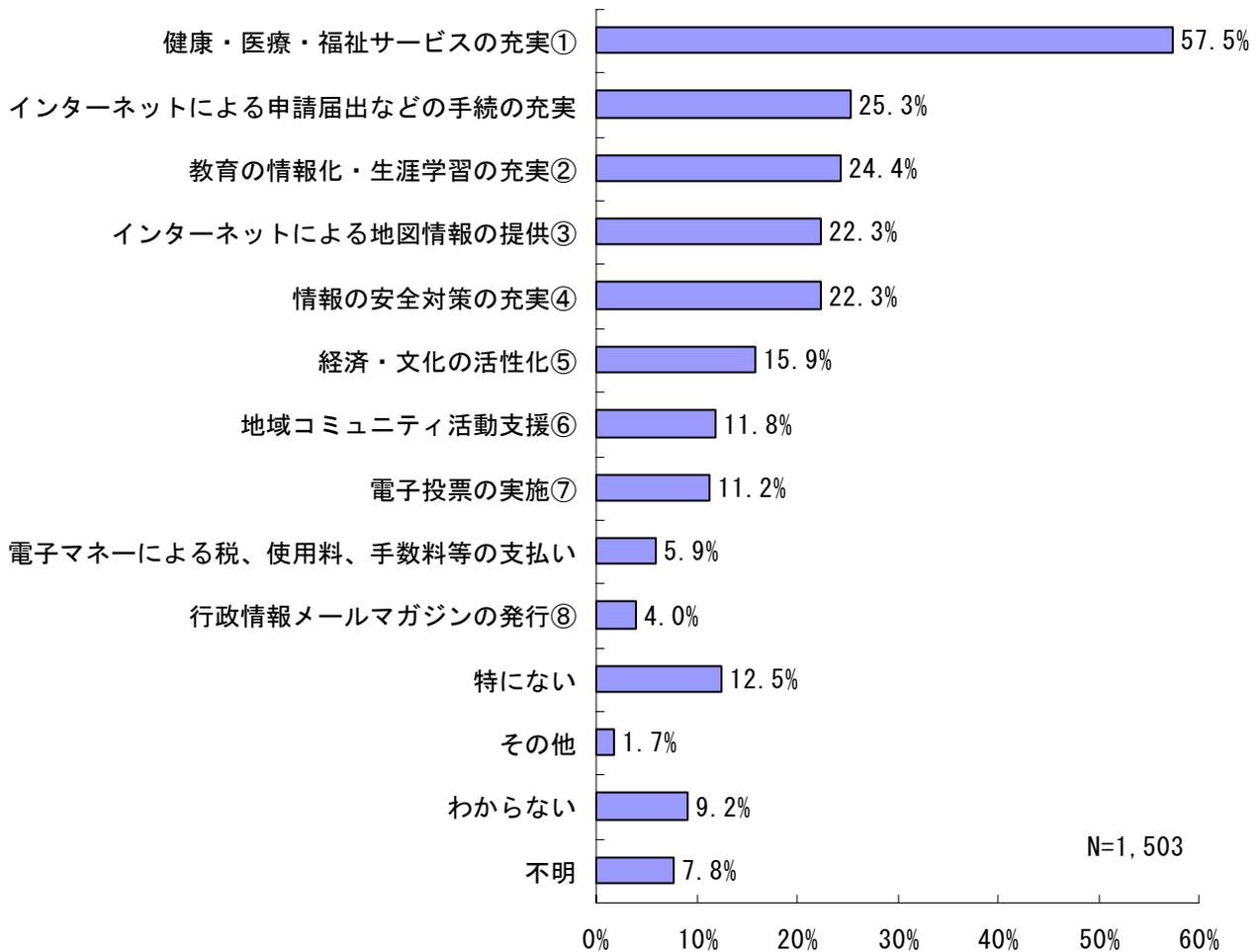
図表 4-7　市の携帯電話版ホームページの満足度

問 11（４）. 問 11（３）で「４．やや不満」、「５．不満」を選んだ方におたずねします。満足できない理由は何ですか。＜複数回答＞

図表 4-8　市の携帯電話版ホームページの満足できない理由

５．情報化施策に関するニーズ

（１）情報化による市民サービスの利用意向

問 12. 鹿児島市では情報化による市民サービスの向上を目指しています。あなたは、どのような施策に力を入れるべきだと思いますか。＜３つまで回答＞

「健康・医療・福祉サービスの充実」が 57.5%と最も高く、他を大きく上回った。次いで、「インターネットによる申請届出などの手続の充実」が 25.3%、「教育の情報化・生涯学習の充実」が 24.4%であった。「電子マネーによる税、使用料、手数料等の支払い」と「行政情報メールマガジンの発行」は１割を下回った。

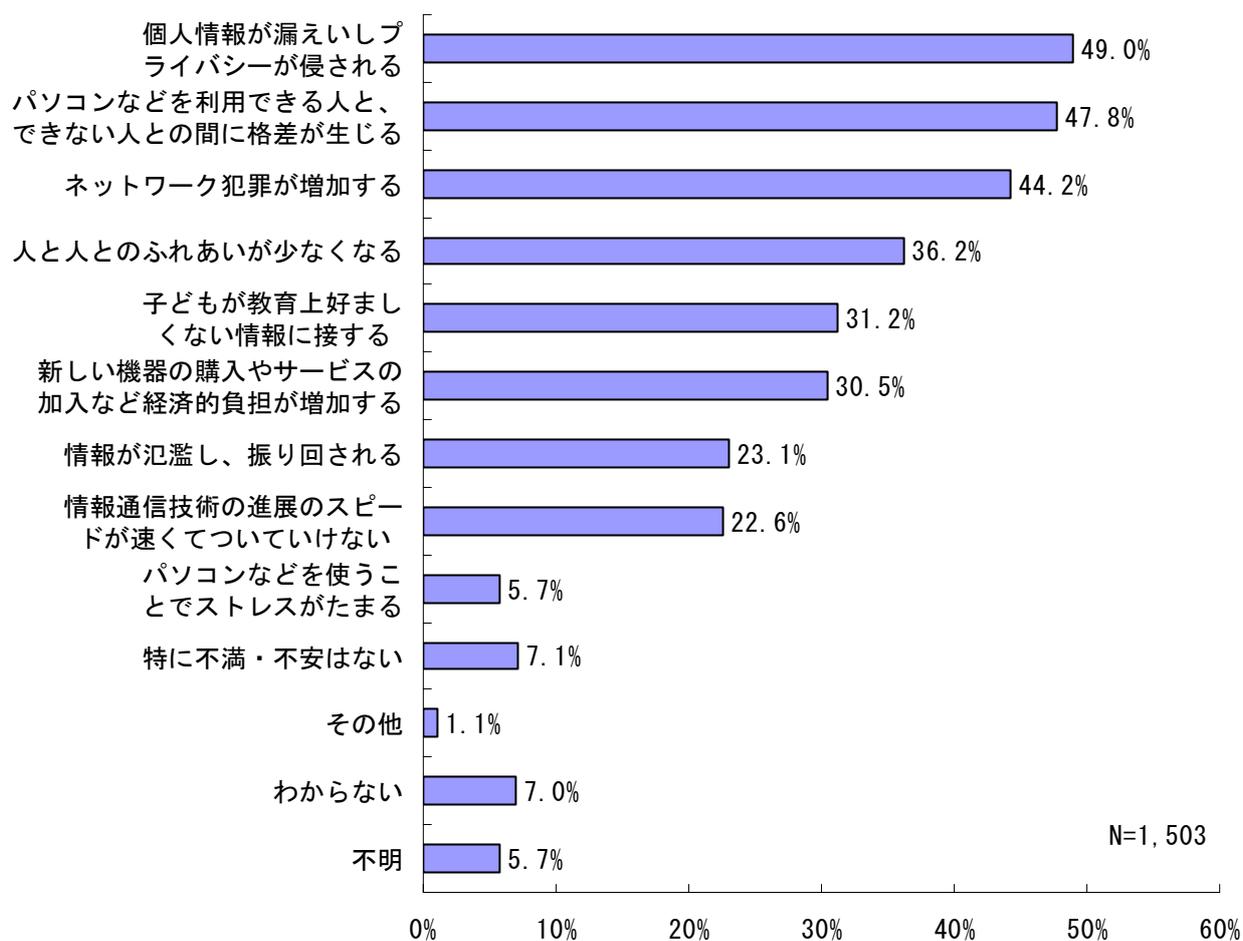
図表 5-1　情報化による市民サービスの利用意向

上記サービスの詳細は次のとおり

①子育てに関する情報提供、高齢者向けの緊急通報システムなど
②情報通信ネットワークを活用した授業の実施、パソコン講座の充実など
③公共施設の位置、都市計画情報などの提供
④個人情報保護、情報セキュリティ、ネット犯罪対策など
⑤中小企業への情報化支援、文化・スポーツ情報の提供など
⑥市民参画への情報活用、電子会議室、地域ポータルサイトの開設など
⑦従来の手書きによる投票に代わる電子機器を利用した投票
⑧電子メールを利用して発行される雑誌の発行

（２）情報化に対する不安や不満

問 13. あなたは、情報化が進むことに対して、どのような不満や不安を感じることがありますか。 ＜複数回答＞

「個人情報が漏えいしプライバシーが侵される」が 49.0%で最も多く、次いで、「パソコンなどを利用できる人と、できない人との間に格差が生じる」が 47.8%、「ネットワーク犯罪が増加する」が 44.2%であった。次いで「人と人とのふれあいが少なくなる」、「子供が教育上好ましくない情報に接する」、「新しい機器の購入やサービスの加入など経済的負担が増加する」であった。

図表 5-2　情報化に対する不安や不満

６．情報化施策についての自由意見

（１）自由意見の傾向

問 14. 鹿児島市の情報化施策についてご意見・ご要望がありましたらご自由にお書きください。

自由意見に寄せられた意見について内容を複数のグループに分類した。高齢者やパソコン等の情報通信機器を持たない情報弱者へ配慮した施策への意見が最も多く、次いで、情報化に対する不安・不満への意見も多く挙げられた。

図表 6-1　自由意見の分類

回答分類	回答数
情報弱者への配慮	52 件
情報化に対する不安・不満	23 件
インターネットによる情報発信の充実	22 件
セキュリティ対策の充実	15 件
情報通信技術を活用した市民サービスの充実	14 件
コスト問題	7 件
その他	9 件
合計	142 件

（２）自由意見の内容

内容は、企業名等を削除し一部表記を修正している。

【情報弱者への配慮】

自由意見	年代	性別
インターネットの提供エリアを増やして欲しい。地域によってはＩＳＤＮ回線が利用出来ないので不平等だと思う。リアルタイムで鹿児島市内の事件、事故等のニュースが欲しい。	20 代	女性
全てネット化するのもどうかと…特にパソコンを持たない方や高齢者の方。	30 代	男性
パソコンが使える人も、使えない人もどちらも公平に平等に扱えるそんなシステム作りをお願いする。今、使える人も年をとればパソコンに向かえる人も少なくなる。であるから、どちらの対応も速やかに分かりやすい、丁寧な対応をお願いする。	30 代	女性
横文字が増え年配の方々は理解しにくくなり不満の声も聞く。情報化も大切だが、分かりやすい日本人に親切な取り組みをお願いしたい。	30 代	女性
高齢者やパソコン等、情報機器に弱い方も分かりやすい、やさしい「情報化」をよろしくお願いする。	30 代	女性
情報化に力を入れるのは結構だか、情報は発信して終わりではない。又、ＨＰ等への発信は構わないが、それ以外の方法にも力を入れてもらわないとＨＰ等を見られない人が情報をとれない。このアンケートに関してより詳しく実情を知りたいのは分かるが、設問が詳しくて分かりにくい。もっと簡単なアンケートが望ましい。	30 代	女性
インターネットをやりたいがお金がない。援助してほしい。	40 代	男性

自由意見	年代	性別
どこに住んでいる人でも同じサービスが受けられる様な通信網が必要ではないか。光しか通らない、アナログしか使えない、高い回線しか選べない、高速回線を利用できない等が、住んでいる場所でサービスの有無が決定されるのではなく、いつでも、どこでも住人が高い回線・安い回線を決定できる事が普及にもつながると思う。	40 代	男性
鹿児島市は高齢者が多い都市だと思われるため。その方々にも分かりやすく、使いやすい物が求められる。文字だけではなく、絵や音声など人間の五感（感覚）に通じるものを。	40 代	男性
情報化を進める事は非常に良いと考える。但し、役所の常として進めるスピードが遅いのではと心配。情報化は使える人と使えない人で格差は出てくるが、当然使えない人の為の対策をとって進めてください。	40 代	男性
親子二人暮らし。障害者と高齢者。色々情報化は進んでいるが、とても二人とも理解できない。テレビ、ラジオ、市民のひろば等の情報収集である。今後インターネットも使用しないと思っているのでその点を留意して下さる様願っている。「市民のひろば」はとても分かり易く、楽しく愛読している。色々御苦労も多いでしょうが頑張っていただきたい。	40 代	男性
老人へのサービスで不公平が生じる。情報化とはパソコンを使うことだけではない。市民の声をいかに拾い上げるかなのでパソコンばかり重視する必要はない。	40 代	男性
アンケート用紙を頂くまでは、鹿児島市のホームページを拝見したことはなかったが、次回からは活用していきたいと思っている。光回線が来ていないので、情報が遅いのが残念。	40 代	女性
パソコンを持っている人だけが便利になるのではなく、保有していない人もちゃんと情報が得られるようにして欲しい。持っていない人がたとえ少数になっても。個人情報が漏れたというニュースもよく聞くようになったので、そういったことがないように対策を何重にもして欲しい。	40 代	女性
高齢者の多い地域に住んでいるが、高齢者の人によってはいろいろな福祉サービスを利用している方と利用していない方の差が大きいのではないかと思っている。もう少し分かりやすく情報を流してあげられたらいいのではないかと思っている。	40 代	女性
市の情報化施策については、これからの高齢化に伴い、全ての市民が情報機器を使いこなせるようになるのは、かなり難しい問題だと思う。まず、市民に機械になれさせるのが第一段階だと思う。しかし、市役所へ行った際の職員の方々の迅速で温かい対応に感激いたし、海外生活の長かった私には、やっぱり日本って最高と思っている。大昔のお役所の怖いイメージなどなくなっていましたね。まるで、デパートに行った時のように気分良く対応していただきました。これからも、情報化を充実させながらも人と人のふれあいは大切にしていただきたいと思う。	40 代	女性
情報化の整備と称してＩＴ事業を進めるというのであれば、弱者「高齢者や経済的事情」の人々の事を考慮した上での情報化が必要ではないか。情報も市民誰もが皆、平等に入手出来るものであってほしい。その為にも、ＩＴ化には市役所の職員の方々の血の通ったサポートが必要で重要だと思う。	40 代	女性
表紙にかいてある(この調査についての)件を遵守してください。高齢者、障害者、社	40 代	女性

自由意見	年代	性別
会的弱者が取り残される心配がある。すべてに公平な情報を。		
パソコン未経験者に対する教育の機会（特に成人や高齢者に対する）を公的なバックアップで頻繁に設けて欲しい。鹿児島の中高年層では、やはり、未経験者（未利用者）が多いと思う。公的機関からの情報発信の内容充実を。例えば、「市民のひろば」などの広報や色んなお知らせなどを。	50 代	男性
緊急に必要な情報を取得したい時、果たして市役所のどこに連絡をすれば良いのか。行政側の独りよがりな部分はないか。未だ部署間でタライ回し的な状況に遭遇することがある。情報提供の細分化・専力化は良いのだが、市民側に役所内のナビを有効に利用できる知識が行き渡ってないのは行政側に目線を少し下げる必要があるように思われる。ややもすると、高度化の途をたどる傾向にあることを充分意識されたい。高齢化社会を迎える中、必然である。	50 代	男性
初心者向けのパソコン無料講座を沢山もうけてほしい。	50 代	男性
インターネットやパソコンの使えない人の事も考えて施策して欲しい。	50 代	女性
インターネットや携帯電話などを使って情報を得るには年配の人には無理がある。市の情報（例えば、イベントとか観光、税や住宅のことなど）を知りたいときに、すぐ答えられる部署があっても良いと思った。電器の会社など専門の人がすぐ教えてくれる。	50 代	女性
情報化施策が進んでゆくのはとても良いことと感じているが、利用できる人と利用できない人の格差がますます進んでいくような気がする。利用できない人は取り残された感じをとても強く受ける。利用できない人への施策も充分お願いしたいと思う。	50 代	女性
パソコン教室の充実→回数、受講料の無料化・一般より低め。	60 代	男性
広報誌等の充実に感謝しながら拝見している。高齢化社会を迎え、すべての住民が情報通信機器を操作して、公正に行政サービスを受けることは至難のことと思う。市民の意志次第で直接に、あるいは家族を介して安全に受けることが出来る情報サービスを充実することが大切。申請・支払い・投票等の電子サービスは、家庭用の電話機器等の発展に従って次第に検討が進むような感じがする。	60 代	男性
行政の情報化がＩＴ優先の考え方では市民へのサービスに格差が生じる。パソコンもメーカー（機種）によってはウィルス対策のサービスがなくなり、インターネットが思うように出来なくなるのではと不安である。	60 代	男性
高齢者を対象にパソコン教室をたくさん実施してほしい（インターネット教室等を）。	60 代	男性
市民の皆様に手に取るように分かるようなものにして欲しい。特に今は、高齢化社会なので、外出をしなくても、書類の届出や納税などが出来るようにして欲しい。よろしくお願いする。	60 代	男性
私達はパソコンなどが特に必要ないため、時代に取り残された気はあるが、諦めている。私達は、今までに使ってきた情報手段だけで今からも生きていくつもり。そういう年配の人間が沢山いることを考えて情報を流して頂きたいと思う。	60 代	男性
情報化施策の一般論としても言えることだか、情報化による行政サービスもハードがある、なし、にかかわる市民の格差が生じている。致し方ないといえばそれまでだがＩＴ社会を形成している現在、何とかしてその差を縮小させる方策が必要ではないだ	60 代	男性

自由意見	年代	性別
ろうか。市民サービスの為のホームページを開き、微に入り細に入った説明を記載しているが、あまりにも煩雑すぎて理解し切れない所もあるので、できたらもう一回見直し、検討を加えて欲しい。		
パソコン等で市の情報を知ってもらいたいならば、パソコンの使い方を教えてくれると市民は助かる。そんなことをやってくれれば、市民はパソコンを買って、世界の中についていけると思う。	60代	女性
まず、アンケート集計後、まとめ（結果）を知りたい。情報化施策を推進するにあたって、小・中・高でＩＴ教育をしっかりしていただきたい。パソコンが使えない市民は困る。買い物で外出したら、ダイエー（中央町）の７Ｆのパソコンを使って市の情報を閲覧できる。パソコンを買っていなくても使用できたら情報をキャッチ出来る。老人でも、使えるように簡単に使用出来る方法を検討していただきたい。文字を大きく。使用方法も簡単に図示。音声ガイドを使って簡単な説明で閲覧ができるように工夫していただきたい。余計なことかもしれないが、市役所の１階の待合室をもっと有効に。（パソコンを置いて活用してほしい。）暇な老人の暇つぶしの広場では、現在もったいないスペース。改善していただきたい。市民相談室の相談もメール・電話等でできるように検討してほしい。相談員もＩＴのできる人を採用。職業（Ｐ１）のアンケートの内容が現代社会にマッチしているか検討すべき。家事は男女問わず生きる為にしている。例　家事はしているが、遺族年金でくらしている主婦。家事の仕事以外していない無職の主婦が家事従事者に〇をするのは反対しないが、現代の主婦業を職業とみなすのは納得できない。個人の集計をファックスで回答できるようにしてほしい。個人の集計（回答）をメールで送信できるようにしてほしい。郵送、ファックス、メールのいずれかで送信できるよう工夫していただきたい。	60代	女性
今、取り組んでいるパソコン講習会を今一度大々的に開催し、市民のＩＴに対する関心に答えてはいかがか。現在行われている講習会もあるが、受講人員制限又は、受講出来ても日数が短い為など中途半端な気がする。一般のパソコン教室などは受講料が高いため経済的負担がかかる。その点でも市での無料でのパソコン講習会開催に感謝する。今一度検討いただきたい。	60代	女性
私みたいに（６６歳）情報機器に弱いものには、今まで通り市民のひろば等をよくよく見て、読んで、覚えておくしかない。「市民のひろば」等の充実を望む。	60代	女性
便利な世の中になりますます貧富の差が広がっていく。そうなると犯罪も増えていくと思う。その根拠に子供の教育があり、その教育を見逃してはいけないと思う。中にはネット上で莫大な金儲けに興味を持っている小学生がいると聞いたことがある。本当の義務教育というのはどういう教育なのか。これで良い世の中が来るのか。70代近くになると引っ込み思案になる傾向がる。でも、パソコンも自由自在にこなしたい気持ちは十分にある。そこで、60代以上を対象に初心者特別講座が開かれると嬉しい。以前ＩＴ講座「鹿児島市らくらくインターネット塾」を２回受けたことがあった。ちょっとレベルが高すぎて自分のものに出来なかった。私達より若い人が多くてさっさと進めていかれたような気がする。もっと時間をかけてゆっくり進めていく講座があるといいなと思った。	60代	女性

自由意見	年代	性別
老人に対するパソコン教室など、情報機器の使い方をもっと身近な所で開設してほしい。(例えば、各町の公民館等)「市民のひろば」等で応募してもなかなか番がこない。１、２日の間で教えるのではなく、ゆっくりと時間をかけて教える教室を開いて下さい。個人情報ということでなかなか教えていただけないことがある。	60 代	女性
コンピュータ等が利用できない人への情報発信をどうするか考えてほしい。大雨、台風時等細かく情報発信出来るよう、ブログ・ＰＣ掲示板の事前準備を。昨年の宮崎市水害時参考に。ブログされて分かりやすかったので。イタズラ防止に書き込みは管理者へメルアド（フリーメール不可）登録にすればよいのでは。	70 代	男性
パソコン講座が自由に受けられるようにして（日、時、人数制限、無料）くだされば有難い。	70 代	男性
公民館等のパソコン講習会をもっと充実してほしい。民間での講習会は料金が高すぎる。いつでも誰でもパソコン講習を受けられるようにしてほしい。今は宝の持ち腐れである。	70 代	男性
高齢化に応じて簡便な情報伝達の機能を考慮してほしい。私は視覚障害者なので、情報に関する不安を感じている。	70 代	男性
市の広報誌（市政だより）は大変ためになる。もう少し充実した記事を掲載してほしい。マンネリ化にならないように新しい情報を。楽しみにしている。我々高齢者は市の情報を市政だよりで知ることが出来本当に有難いと思っている。	70 代	男性
市の情報化施策は良い施策と考えるが、老人は情報通信機器（パソコン・インターネット接続）の操作が出来ない。公民館単位で老人（７０歳以上）向けに機器の取り扱い（操作）の講座を提供していただきたい。若者のように飲み込みは良くない。	70 代	男性
私は７４才で、パソコン、携帯、デジカメ、ビデオカメラ等の初歩的ながら趣味を持ち楽しく多忙な日常である。一方、私は高齢者集団の役をしている。そこで感じることは、世間ではＩＴのインターネット、ホームページ、デジタル化など盛んに呼ばれている。私の集団１０００人余りの高齢者がいるが、語ってみると殆どの方々がホームページなど特に携帯電話すら持たずの状況である。買うお金はあっても、取り扱いが苦になるような話ばかりである。そこで、市民講座の場を多く設けて、誰でもＩＴ機器がなじめるようにして欲しい。	70 代	男性
私共は年寄りで暮らしている。今の情報化にはついていけないのが実情。年寄りにも分かり易く工夫して頂きたい。特に災害に対して。	70 代	男性
色々な情報通信機器があるが、その操作は簡単ではない。パソコンを例にとっても、文書作成・表計算・メール・インターネットなど数多くのソフトによる操作がある。情報通信のためだけにパソコンを利用するのはあまりにも無駄な代物だと思う。また、故障もあり、修理、買い替えにも経済的負担が大きい機器である。現在何％の人がパソコンを持ち、何％の人が操作出来るのだろうか。まだまだ、若年者でもパソコンの操作が出来る人は少ないと思う。まして、高齢者など１％も出来る人はいないのではなかろうか。使いこなしている者にとってはこれほど便利なものはない。情報通信機器を利用して市民サービスは、５年、１０年では無理ではないかと思う。それまでは、まだ、印刷物による情報伝達、申請、届出などが必要となるだろう。	70 代	男性

自由意見	年代	性別
パソコンや端末機器が市民に行き渡っていないのに、インターネットを使ったり、各種申請や届出や各種支払いなどを電子化するのはどうかと思う。情報化の為の機器などが無償で使えて、又は市民に無償で貸与するなどが実施されて初めて、情報化の価値が出るだろう。さもなければ、ＩＴ機器メーカーに機器の売り込みの口実を与えるだけであり、犯罪を助成する温床を作ることになると思う。又、老人にとっては今の情報機器（家電を含めて）のメーカーの取扱説明書は理解できない。独りよがりで訳の分からない用語が氾濫している。鹿児島市が情報化する場合は今のパソコンや情報端末機器（これからは広範囲の用途に向くように設計されているので無用の情報が多過ぎる）を対象とせずに、操作が簡単で市が必要とする情報、市民が利用できるサービスや手続きなどの用途に向くように簡素化された情報端末機器を開発した後に実施するのが良いだろう。それまでは、パソコンやインターネットを利用している人と利用していない人との間に格差が出ても仕方ない。但し、インターネットや情報端末機器を持たない人が不利をこうむるような施策は避けていただきたい。（例えば、電子化がどんどん進んでしまって役所の窓口では手続きできず、パソコンなどを通してしか手続きが出来なくなるような事態。又は、インターネットで通知したからとか、市のホームページに載っているからとかで市民に必要な重要な情報を伝える広報誌を廃止するとか。）	70 代	女性
最近は横文字が多く、私共高齢者には非常に分かりづらくなり、時代が進歩し、常に勉強が必要なのだと痛感している。市民のひろばにでもちょっとした単語意味ページを望む。	70 代	女性
情報取得の手段が、インターネットによるものに集中されることで、この方法を利用できない人々が一方で増えていくことが憂慮される。簡単な操作でインターネットが使用出来るよう操作面の改良など、普及方法が同時に進行されるべき。特に機器の教育を受けていない高齢者層への操作教育をもっと推進することを考えていただきたい。例えば、市民・・等へ何回申し込んでも参加できない。	70 代	女性
年寄りはパソコンなどついていけないので、配慮をお願いする。	70 代	女性
老齢化が進んでいるので、年寄りにわかるような言葉で、分かりやすい方法により生活に密着した内容をお知らせくださるよう願う。様々な機器を使用する若い人たちとの情報差が拡大しないような施策をお願いする。	70 代	女性

【情報化に対する不安・不満】

自由意見	年代	性別
情報がインターネットなどで得られるのは良い事だし、楽だとも思うが、その反面ネット上での犯罪やプライバシーの保護、ウィルスなどの心配がやはりある。あと、進化が早すぎておいつかないような…。（あまり利用しないので）ある程度でいいと思っている。チャットでの交流も良いが、やはり目と目を見て、直接言葉を交わすのが一番だと思っているので、利用しつつ人の繋がりを大事にしたい。	20代	女性
家にはパソコンがない為友人の家に通っているが、家から２０ｋｍ以上離れている為に時々にしか使えない。たまに使うと前に教わったことを忘れてしまう。	40代	男性
情報のオンライン印刷がしづらい。	40代	男性
情報化施策＝パソコン化というなら疑問に感じる。アメリカのハリケーン、カトリーナ上陸時、避難経路をインターネットで広報したそうだが、その手段では情報を得られない人と得られる人の不公平がある。手段の中の一つであるならいいが、それだけではどうか。インターネットに載せただけで仕事をした気になられても困る。福岡の公務員の飲酒ひき逃げ事件のでる前日にメールで飲酒運転しないようにという訓示があったばかりだそうだが、メールというものはどれだけの人に届いているのだろうか。まずは本来の業務の内容熟知と適正な対応を望みたい。（生活保護の担当者の中には不適切な対応が多いと聞く。）それがあっての情報化である。本来の仕事が満足にできていないのに、情報化の仕事をして、仕事をした気になっては本末転倒なのだ。インターネットによる申請届出の手続き、時間がなく役所に行けない時など便利である。お役所対応の窓口の人に会わなくても済む。が、出かけてみると適切なアドバイスがあってよりよい結果が得られた。親切な対応も感じが良かった。とりあえず役所の人に相談してみようというふうに誰もが思う場所になるべきである。	40代	女性
中学生、高校生をもつ母である。インターネット関係は今、とっても必要だと思う。パソコンももちろん必要だが、我家にはない。あえて必要としていない。インターネットから色々な情報を知りあまりよくない道に反れる可能性も大きいと思う。なくてすむならそういう形でしか自分の子供を守れないから。悪い道に進むことはとても簡単なことで、それから立ち直るにはとても時間がかかるし、とても難しいから。今は携帯電話にも本音を言えば迷惑している。家にいる時はメールばっかりして勉強もろくにしないし、親子の会話も段々少なくなる。そして、手紙を書いたり文章を書いたりすることも昔からするとずっと減ってきていると思う。自分の子供を守ろうとしていてもこんなにいろいろと情報が簡単に手に入る世の中だと今後の子育てはとっても大変だと思う。	40代	女性
パソコン使用によりストレスがたまる。	50代	男性
目が疲れやすい	50代	男性

自由意見	年代	性別
役所はサービス業であると思っている。人と人、顔（目）と顔（目）を接してする仕事だと思っている。インターネット（各ホームページ）等は非常に便利で情報をすぐ手にすることが出来る。しかし、送り手優先であり一方通行の感が強い。一つの媒体であることの認識が必要と思う。しかし、一部我々の考え（情報）を伝えたのでよしとする感もある気がする。社会の流れかもしれないが、問い合わせ等でも詳しいことはインターネットを見て下さればと終わっていることもある。これでは問い合わせの意味もなく何の役にも立たないと思う。情報は生声と手元に残る活字が基本にあると思っている。今、市内を廻るとこんなところにもと思われる所にパンフレット、案内紙を手に取る場所があり、嬉しくなる時もある。情報化施策を毎日考え、運営していく事が皆様の仕事でしょうからお任せするが、今机上のパソコンを１ヶ所に集約し始めている上場企業があると聞きく。インターネットの便利性ではなく、不便性を考えて進めていかれる事も一つではないか。	50 代	男性
パソコンでも保有してればいろいろ返答できたのかもしれないが、あまりインターネットでの情報は今の現状では必要なかった。雑誌などで充分（新聞など）。あまり便利になりすぎて考えるところがある。	50 代	女性
鹿児島市民の一人として、必要な事柄が何らかの手段で知り得るならば、特に人より先に情報が届かなくても良いし、市役所の窓口サービスが気楽にいつでも快く対応していただけるのであれば、機械にわずらわされる事もなくなく生活出来るのかなと思われる。加齢と共にスピード化について行けないと思っている。	50 代	女性
情報が氾濫し過ぎると、まどわされるのではないかと思う。	50 代	女性
分かり易い言葉を使って欲しいと思う。外国語の表示、カタカナ等は覚えられない言葉が多すぎる。	50 代	女性
子供と一緒に住んでいないし、インターネットでの情報を聞く事も出来ないし、難しくて分からない。	60 代	男性
役所に用事のあることなど年に１～２回程度のことで、新しい手続きをする時などインターネット上では理解出来ない。直接足を運んで話を聞かないと納得いかないのではと思う。	60 代	男性
パソコンにしても、６７歳の老女には今から覚えたとしても、ストレスが溜まるだけで、下手すると今は色々な詐欺等があり、市の情報化施策を今かすることによって、市も紙、印刷費、郵便代等少なく出来るとは思うが、私はついていけない。こから先、生きたとしても２０年弱しか生きないし、その前に「あなた誰・・・」となりそう。	60 代	女性
高齢者には分かりにくい。スピードについていけない。	60 代	女性
全ての企業がホームページを見ていただきたいと言いうが、年をとったものにはパソコンはないし、何の事か分からない。少しの年金（国民）ではパソコンも買えないし生活がやっとである。	60 代	女性
例えば、「ブログ」とは「個人発信欄」では何故いけないのか。カタカナが多くて情緒的感性が見られず人間関係が欧米化の多くに似て強食弱肉型となり凶悪犯罪の増加につながる筈。従ってことに若者が米国下名階級並みの知識となりつつある現在、漢字による脳と心情の活性化充実化を測ることが肝要と思われる故、可能な限り漢字	70 代	男性

自由意見	年代	性別
を使うべし。漢字を使えない職員は採用するな。情報発信者及び内容の責任者を明記して情報化せよ。		
科学が進歩しすぎて、人間らしさが失われて行く様にある。文化は程々が良いと思う。犯罪者も多くなりつつあると思う。ある程度の労力があって良いと思う。人間の労働力、精神力がつくと思う。人の道、殺人も起きない！！治安が悪い世相である。	70 代	女性
私の様な高齢者はパソコン等で情報を得るのは難しい。又、情報が「はんらん」しすぎても困ることが多いように思われる。	70 代	女性

【インターネットによる情報発信の充実】

自由意見	年代	性別
今からは、どんどん便利になってインターネットの利用者が増えると思う。色々な手続きがインターネットで出来れば若い人たちの利用が増えると思う。年齢層によっていろんなサービスを分ければより良く利用されると思う。鹿児島市はいろんな講座や市の施設など充実していると思うので、もっと市民にアピールした方がいいと思う。	20 代	女性
最近ネットを始めて感じるが、鹿児島は思っていた以上に他県に知られていないのが残念だ。鹿児島と言えば「焼酎」。間違いではないが、そろそろ、それ以外の事も広めていくべきだと思う。私も今から鹿児島の事を書いているＨＰやブログを探して勉強しようと思っているが、ネット上で上手く鹿児島を表現している人と協力して、まずは鹿児島に住んでいる人に知ってもらうべきだと思う。仕事柄１０代の子と働く事もあるが、本当に何も知らない。まだ、何をすればいいのか分からないが、自然も多く、食べ物も美味しく、方言もあって、懐かしい場所だと思うので、もっと多くの人に鹿児島を好きになって欲しい。	20 代	女性
保育園や学校の情報が詳しく調べられるようにしてほしい。	20 代	女性
ホームページを見たが、見やすくなく、古くさい。不必要にサイズ（容量）の大きい写真が貼り付けてあり、読み込みに時間がかかる。現在ホームページ製作をどの様な業者で行っているか分からないが、専門の業者を依頼した方が良くなると思う。	30 代	男性
鹿児島市の公営交通機関を利用出来る親しみやすいマップ。産業道路沿いに大型施設がぞくぞく建設されている。与次郎の大型民間施設も建設されている。市民の欲しい情報を気軽に紹介して欲しい。	30 代	男性
鹿児島市役所のホームページは、他都市と比べて少し堅いイメージがある。もう少し工夫をされた方が良いのではないか。	30 代	男性
保育園についての情報を得たくて、ホームページを見たことがあるが、定員に対する現在の状況（（例）定員に対して何%埋まっており、待機児童が○人くらい等、料金の形態等）や知りたい情報が得られなかった。その日のイベントなど、トピックして目立ったように表示すればいいのでは。	30 代	男性
観光スポットなど、インターネットで鹿児島市のホームページから検索できるといいと思う。例えば、桜島から地図や行き方（バスの時刻表や料金などを載せる）近いホテルにアクセス出来るようにするなど工夫できたらいいと思う。又、イベントや行事なども、すぐ市のホームページで見られるといいと思う。	30 代	女性

自由意見	年代	性別
今、色々な県で税金等を市の職員が燃やしたり使用（個人的に）したりしているという報道があったが、そういうことを隠さず、確実に報道して欲しいと思う。今、仕事をしたくても職場もなく、税金等を収めたくても出来ない期間や支払いが出来ない場合、将来の不安や老後のことを考えると心配である。そういった対応の情報が欲しい。	30 代	女性
仕事の関係で、窓口での手続き方法など事前に確認するために利用しているが、せっかく作っていただいているのにもかかわらず、他のサービスについてはあまり見たことがない。便利な世の中であるが、必要な情報や（急ぎの時）細かい情報を知りたい時はホームページではなくて電話をしている。ホームページのサイトにどれだけの情報を載せるか…というのは選択、製作される方々にとっては難しい問題だと思う。県外や海外の方はこのホームページが鹿児島市を一番よく知ることの出来る情報源だと思う。どこのホームページからも得られない鹿児島市の素晴らしい情報をう～んと提供して下さい。楽しみにしている。個人的には、市営バスの時刻表はほぼ毎日利用している。友人にも教えたらとても喜んでいた。もう一つは、国際交流のホームページはよく拝見している。日本人に限らず世界中の人々に鹿児島のことを大好きになってもらえて〇〇人△△人…などという人の線をこえて本当の意味での国際都市、国際交流の出来る街になっていく事を願う。ホームページも外国語版での情報もたっぷりでよろしくお願いする。	30 代	女性
子育て中、外出がなかなか出来ない分インターネットをよく利用している。先日、保育園、幼稚園の情報を得たいと思って検索したが、認可外保育園の情報が平成１７年のデータしかなかった。子育てに関する情報手続きがインターネットでできるととても助かる。保健所の情報ももっとインターネットで得られるようになってほしい。育児教室の申し込み等もネットで出来ると利用しやすい。交通局のホームページはとても利用しやすくて便利だと思う。	30 代	女性
子供がいる為、公共施設などより多く取り扱ってほしい。イベント情報など少なすぎる。ホームページなどでも、少ないのが不安。より多くの情報など福岡などみたいに取り扱って欲しい。	40 代	男性
今回初めて、ホームページを拝見させて頂いた。豊富な情報に感動した。これから市のホームページを活用していきたいと思う。いいホームページ作成をありがとう。これからも続けていろいろな情報をよろしくお願いする。	40 代	女性
市ＨＰについて、数回ホームページにアクセスしたことがある。市民サービスのためのホームページにしては情報が少なく、それぞれが独立している感じを受けた。また、内容によっては古い情報が更新されずそのままの部分があった。（その後調査がなかったかもしれませんが、統計関係のものである。）でも、県のホームページと比較すると市のホームページの方がまだ充実している。これからも利用しやすい情報化政策をお願いする。	40 代	女性
インターネット等の情報化の推進により、情報伝達や行政手続きは飛躍的に便利性が高まっている。しかし、それと同時にセキュリティ問題も大きくなっている。従ってセキュリティ対策には万全の対策を施していただく事をお願いいする。また、情報の正確性を保つための情報管理が一層重要となる。鹿児島市のホームページの中で、観光ガイドのページの中の温泉天国には入浴料が３３０円（９／６現在）となっていた。	50 代	男性

自由意見	年代	性別
このような情報の訂正を含めた管理の徹底が課題であると思う。		
会社のパソコンで企業情報の他、色んな情報を検索等で探しているが、他県は情報が入りやすいが、鹿児島は遅れていると思う。こういった情報があったら市民が喜びを感じるなとか、便利だなとか、ホームページ上でも掲載していれば鹿児島の経済の発展、商工業のネットワーク等益々元気のある街づくりが出来ると思う。	50代	男性
区画整理に伴う「市が販売する不動産」の電子上の情報提供の充実。区画整理事業実施状況の提供とその後の検証状況の提供。病院の特徴等情報。市全体にわたる道路整備状況の提供。経済的発展を目指した市の取り組みの将来計画の情報。吉野地区を情報ネットワーク特区に指定し、将来３０万都市となるような計画をお願いしたい。	50代	男性
鹿児島は歴史的にも価値のある財産（有形・無形）をたくさん持っている地域だと思う。県と市、タイアップしてもっと観光ＰＲし、まだ日の目を見ない歴史的価値のある個所ももっと掘り起こしＰＲして欲しい。すばらしい鹿児島に万歳。	50代	女性
ホームページが見やすくなった。合併による情報格差（基盤整備）を無くするよう努力してもらいたい（予算配分の検討）。市議会の速報をホームページに載せてもらいたい。（遅くとも翌日には…本当は新聞より早く。）	60代	男性
最近は、企業の形態が多岐に分化している。インターネットで鹿児島（県や市）を開いても申請や周辺の資料がない場合が多く、他の都府県のものを利用していることが多い。さらなる充実を望む。	60代	男性
市の施設の場所の略図が示してあればと思う。	60代	女性

【セキュリティ対策の充実】

自由意見	年代	性別
情報化を行っていくにあたり、個人情報保護をしっかりと行ってほしい。	20代	女性
インターネットによる人権侵害（盗撮、中傷等）に対する罰則の強化をお願いする。	30代	男性
個人情報の保護には特に力を入れて欲しい。	30代	男性
個人情報を大切に扱ってほしい。	30代	女性
情報化が進めば進むほど、良い面と悪い面が出てきそう。安全に市民サービスの向上がなされなければなぁと思う。大変でしょうが頑張って下さい。プライバシーは必ず守っていただきたい。	30代	女性
ＩＴ推進はこれからの分野で特に重要な事柄のひとつだと思う。市民のためのＩＴ推進であることを切に願っている。しかし、最近のニュースで報じられているようにサイバー犯罪が後を絶たないのも事実。私は職場以外でのインターネットは利用していない。利便性は大変有難いと思うが、情報の流失やそれに伴う他人への第三者被害を考えるとまだ踏み込めない。だから、市政が安心してＩＴ化のモデルを示してくだされればと期待している。	40代	男性
インターネットなどの情報化が進むことは、これからの社会で重要だと思う。しかし、その取り扱い方には十分なプライバシー保護などが必要だと思う。そして、情報化が進む中にもやはり人と人のふれあい、温かみのある社会であってほしいと願う。	40代	男性
情報化が進むのは良いことだと思う。しかし、セキュリティや個人情報の保護に配慮	40代	男性

自由意見	年代	性別
し今回のような意見・要望等を汲み取って進めてもらいたい。		
今は特にないが、個人情報の漏洩防止には充分すぎる程留意して欲しい。	50 代	男性
市の情報化施策は、今後も進めて欲しい。同時にパソコン等を利用した犯罪防止、プライバシーの侵害、子供への有言なものへの対策を全体的に（国、行政、業界）進めて欲しい。	60 代	男性
市民個人情報を漏えいすることがないようお願いしたい。費用対効果、情報化に伴い市職員の数も相応に減らすべきものと思う。	60 代	男性
市民全員が参加出来るシステムを考慮してほしい。ウィルス、情報保護には最大限の配慮をしてほしい。ｆａｃｅ　ｔｏ　ｆａｃｅを基本に考えてほしい。青少年が戸外でより多く生活（行動）出来るようにしてほしい。豊かな自然を忘れないでほしい。	60 代	男性
個人情報は守っていただきたい。そのうちにインターネットまでは出来なくてもパソコン購入を希望している。	60 代	女性

【情報通信技術を活用した市民サービスの充実】

自由意見	年代	性別
住民票などがネットで取得出来ると、とても助かる。	20 代	女性
色々な申請等（住民票の取得やパスポート他）がネットでできたらいいなぁと思う。国際的なイベント情報＋知識人と知り合えるような交流の場があれば。最近、外国人がせっかく増えているのだから、もっと色んな事を知りたい。まぁ、問題も沢山あるだろうが。	20 代	女性
時間外・土日の対応をやってくれるところが少ない。仕事の関係上、平日では処理できない時が多い。よって、インターネットを活用して処理してくれると有難いと思う。	30 代	男性
キュートピアネットでスポーツ施設の抽選申し込みを利用しているが、グループ代表として複数人数のＩＤで申し込みする場合いちいちトップページから入り直さなければならず不便である。	30 代	女性
医療と交通との密着など生活していく上で実際に役立つシステムがあれば良いのではないか。お年寄りならば、指一本で（ボタンを押すだけで）医療機関につながったり、タクシーが呼べたり。子供ならば、夜間あいている病院に指一本でボタンを押すだけでつながる。生きていくうえで必要とされるものがあると良いのではないか。鹿児島発展の為頑張っていただきたい。	30 代	女性
妊娠中及び育児中の（子供が小さい）場合移動図書館があればとても有難い。希望者を募り巡回する形で利用したい。交通手段が限られている高齢者も一緒に利用出来るのではと思う。情報機器（パソコン等）を１ヶ月単位でも図書と同様に貸借することが出来れば年齢を問わずに鹿児島の情報に触れる事が出来る上、様々な意見交換がまだまだ増えるのではと思う。生涯学習にもつながると思う。	30 代	女性
市全地域へのブロードバンド完全普及で使える・使えない（個人の能力）は別として、市に対して行う全ての届出や出庁業務を自宅のパソコンから行えるようにしてほしい。窓口の完全撤去とは言わないまでも、すべての作業が自宅で出来るようにすることで、支所の駐車場の確保や混雑解消、待ち時間無し、出庁に関しての時間の都合（曜	40 代	男性

自由意見	年代	性別
日や開庁時間に合わせる必要なく）を気にせず年中２４時間届出や必要書類を自宅で完了、受け取れる体制を確立させてほしいし、その為に税金を使って欲しい。		
分かりやすく、楽しくて、誰でも利用しやすい環境作りに努めてください。図書館とある本検索のパソコンみたいに利用しやすいパソコンが路上に、公衆電話みたいにあればすごく良いと思う。ちなみにホームページが市民便利帳みたいに検索できたら便利だと思う。また、小学生向けのページもあれば子供達も利用するのではないか。今後の情報化施策に期待している。がんばっていただきたい。	40 代	男性
鹿児島市の情報化を通して鹿児島市が活性化する事を期待している。	40 代	女性
全ての手続きは市役所に出向かなくても自宅のパソコンで可能となってほしい。	60 代	男性
電話番号帳と同様なアドレス帳が有ったら利用できるのでなかろうか？	70 代	男性

【コスト問題】

自由意見	年代	性別
メールマガジンの発行に、ポイント制を導入すべきである。また、情報化政策が単に情報の発信になっては使える人にしか興味が持てない。やはり、ポイント制のように安全上の対策が出来ていることを前提に経済的観点からの優遇を行うべきである。例えば、アンケートを取り込みポイントの量によって公共費の割引（ごくわずかでも良い）を行う。情報化政策が単に発信に終わるのではなく政策として行う以上、効率化を同時に行い不要な人件費を削減することによりくみ出される経費を市民に還元し、そして市民から実用性を持つものとならなければならない。そうすることで、市民の中に政策が組み込まれ双方にとって利益を生まなければ情報化する意味がない。単に情報の発信政策としての導入ならば、税金の無駄である。以上、情報化政策は市民にとって有益なものとなりうる情報発信の形つまりは経済性を導入しなければ意義のあるものとなり得ないと考える。それによって、今まで以上に県の政策に関心を持つはずである。	20 代	男性
費用対効果が重要だと思う。特に実際利用者の見込めないシステムに巨費を投じるのは無駄だと思う。システムに巨費を投じるよりも、市営プールの一般開放時間や予約状況を遂一更新するなど細やかな情報発信に努めてほしい。	20 代	男性
必要とされるものだけでいい。他県のマネはしなくてもいい。情報処理が好きな人を担当にしてあげて。もしくは、県の人がするのではなく、そういうのが得意な業者に委託した方が良い。いやいや職員が担当しても金の無駄。	20 代	男性
住民票コードの利用を一度も行ったことはないが、市としての効果はあったのか！？例えばコストが５０％ダウンしたとか。又、住民票コードの情報はホームページに記載されているのか。	50 代	男性
私自身、職場でコンピュータ漬けの毎日だが、市が情報化施策を強力に推進する事には賛成しない。と言うより、反対だ。全国でもＩＴ化が（県民一般）低い方だと思うが、低いが、～というアイディアに満ちた施策を考えるべき。まして、予算を大幅に増やす事には反対。便利性は今位で調度良い。鹿児島は老人が多く、職員はＩＴ云々より汗を流して足を使う事を考えるべき。これから、ＩＴ化でやる部分、やれる部分	60 代	男性

自由意見	年代	性別
は多くなっていくが、市・県がやるのは自分たちが楽になれるという発想になりがち。ある事をＩＴ化するのに許認可は第三者の監査機関を設けるべきだくらい、と思う。まして、このアンケートの統計結果で大半が望んでいる等の結論はもっての外である。高い費用を費やすとき、自分の金を払うのだったらどうだろうと考えていただきたい。		
情報化は時代の進展につれ、日本国中、或いは世界とのネットワーク化が進むものと考えられている。従って情報化施策の必要性はあると考えられる。しかし乍ら機械の進歩につれ、担当者の人員増、機器の買い替え等、今後莫大な出費がかさむと思う。費用対効果を考える時如何なものかと思う。民間の場合情報機器等を入れたらそれに見合う人員削減が迫られるが、行政の場合逆に専門の担当者を配置するなどして人員は増えていく傾向にある。市民の立場からすれば益々効率が悪くなるのであって、過度の情報化には賛成できない。	70 代	男性
次の世代を担う子供たちが増えなければ、どんな施策も意味を成さないと思う。	30 代	男性

【その他】

自由意見	年代	性別
今回初めて市のホームページを見たが、かなり充実していると思った。施設利用の申し込みや、サンエールの図書検索が出来るのは便利だと思った。自治体のＨＰを見るのは、主に旅行先での情報を得るための観光課ＨＰくらいで、自分の住んでいる所のＨＰをあえて見ようという気はしない。鹿児島市は広報誌が充実しており、それでほぼ満足しているので。ＨＰでの情報伝達は受け取る側が能動的にならなければいけないが、広報誌はポストに入っていれば何となく読み、関心のない記事でも斜め読みで気に止まる。広報誌の電子化などされないようにお願いしたい。	30 代	女性
情報化を進めるのはよいが、進める事による市民への負担がない様にお願いする。	40 代	男性
水道料金の引き下げ、災害時の交通や生活の身の回りの情報発信のためのアクセス（電話等）回線の明確化をＰＲ。	50 代	男性
情報化という言葉に、既存の新聞・テレビ・固定電話等の活用が脱落しておりむなしい。今まで、業者まかせでおしきせの情報を垂れ流ししていたのでは。市の職員に地域担当者を任命するなど、細やかな施策の徹底、地域の管理内容ある施策を実施しないと「生きた情報」にならない。形式的な情報化は業者を喜ばせるだけで、いざという時「生命の救助」とか大事な場面で全く要をなさない。機材を要するメディアは時間や空間やプライバシーの単なる浪費だけと考える。	60 代	男性
携帯電話も使ったことがないので、パソコン、インターネット、ブロードバンドサービス、何もついていけない。田舎ものにこんな返答は送らないでほしい。意味が分からない。	60 代	女性
市民のひろば等を通して情報が分かり本当に助かっている。日常安心して生活出来る事に又感謝している。	60 代	女性
回覧板やテレビ等で充分。新聞もある。	70 代	女性
高齢のため、機械に弱いので知人・友人との話の話題は病院・病気・治療と健康の話	70 代	女性

自由意見	年代	性別
題になる。平和で楽しい老後を迎えることが出来ればと願っている。そのために、テレビ・ラジオ・新聞・市の広報誌（市民のひろば）を見たり、聞いたりが私の情報源。市民のひろばは楽しみにしている。今のところこんな毎日。まあまあ、満足している。		

Ⅲ．資料　アンケート調査票

鹿児島市の情報化に関するアンケート調査

■この調査について

この調査は、新たに取り組む情報化施策に市民の皆さんのご意見を十分に反映させるために、実施するものです。

この調査をお願いする方は、２０歳以上８０歳未満の市民の皆さんから無作為に選ばせていただきました。

アンケート用紙は無記名で、調査結果は統計的に処理し、目的以外に使用することはありません。お忙しいこととは存じますが、調査の趣旨をご理解のうえ、ご回答くださいますようお願いいたします。

■ご記入に当たってのお願い

１．この調査は、封筒のあて名の方がご回答ください。

２．ご回答は、それぞれの質問に関してあらかじめ用意された項目（選択肢）の中から、当てはまる番号に○印をつけてください。また（　　）内にはできるだけ具体的にご記入ください。

３．本アンケート中に使われている用語については、１１ページに用語説明を記載しておりますのでご利用下さい。

４．このアンケート用紙及び返信用封筒には住所・氏名を記入していただく必要はありません。また、切手を貼っていただく必要もありません。

５．ご回答いただいたアンケート用紙は、記入もれがないかご確認のうえ、同封してある返信用封筒に入れ、**平成１８年９月１４日(木)**までにご投函くださいますようお願いいたします。

※このアンケートで知り得た情報の秘密は厳守します。なお、統計的な処理が終わりましたら、アンケート用紙は破棄させていただきます。

■お問合せ先

鹿児島市情報政策課ＩＴ推進係

住　所：〒８９２-８６７７　鹿児島市山下町１１番１号

電　話：０９９－２１６－１１１５（直通）

ＦＡＸ：０９９－２１６－１１１７

☆はじめに、あなたご自身のことについておたずねします。

それぞれの項目について、当てはまる番号１つに〇印をつけてください。なお、それぞれの項目は統計処理する際に必要な項目ですので、すべての項目について記入もれがないよう、お願いいたします。

■性別

１．男　２．女

■年齢

１．２０歳～２９歳	３．４０歳～４９歳	５．６０歳～６９歳
２．３０歳～３９歳	４．５０歳～５９歳	６．７０歳～７９歳

■職業（兼業の場合は収入の多い方に〇印をつけてください。）

１．農林水産業	５．会社役員	９．無職
２．自営業（農林水産業以外）	６．パート、アルバイト	10. その他（　　　　）
３．自由業（芸術家、弁護士など）	７．学生	
４．会社員、公務員	８．家事従事者（専業主婦など）	

■居住地（１０ページの「地域区分と所属町丁目の対照表」を参照してください。）

１．中央地域	６．谷山北部地域	11. 吉田地域
２．上町地域	７．谷山地域	12. 桜島地域
３．鴨池地域	８．伊敷地域	13. 喜入地域
４．城西地域	９．吉野地域	14. 松元地域
５．武・田上地域	10. 東桜島地域	15. 郡山地域

※不明な場合は、お住まいの町名をお書きください。(例：山下町)

（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

＜１＞　あなたのご家庭での情報通信機器の保有状況、利用状況についておたずねします。

問１．あなたのご家庭では、次の情報通信機器を保有していますか。次の中から当てはまる番号すべてに○印をつけてください。（ご家族のうち、どなたかが保有しているものも含めます。）

１．パソコン
２．携帯電話※①
３．ＰＨＳ※①
４．携帯情報端末（ＰＤＡ）※③
５．カーナビゲーションシステム※④
６．ファクシミリ（ＦＡＸ）
７．ケーブルテレビ

問２．ご家庭でのインターネットの利用状況についておたずねします。

（１）「自宅」で「パソコン」を使ってインターネットを利用していますか。次の中から当てはまる番号１つに○印をつけてください。（ご家族のうち、どなたかが利用している場合も含めます。また、携帯電話の端末のみでインターネットを利用する場合は含みません。）

１．利用している　→（２）へ　　　２．利用していない　→問３へ

（２）（１）で「１．利用している」を選んだ方におたずねします。「自宅」で「パソコン」を使って、どのような回線でインターネットに接続していますか。次の中から当てはまる番号すべてに○印をつけてください。

■ナローバンド回線
１．電話回線（ダイヤルアップ）
２．ＩＳＤＮ回線※⑤
３．携帯電話回線（８は除く）*
４．ＰＨＳ回線*

■ブロードバンド回線→１つも○がない場合は（３）にもご回答ください
５．ケーブルテレビ回線（ＣＡＴＶ回線）
６．光回線（ＦＴＴＨ回線）※⑥
７．ＡＤＳＬ回線※⑦
８．第３世代携帯電話回線*,※②

■その他
９．その他（　　　　　　　　　　　　　　　）

＊：「３．携帯電話回線（８は除く）」、「４．ＰＨＳ回線」、「８．第３世代携帯電話回線」はパソコンに接続して使う場合であり、それぞれの端末のみでインターネットを利用する場合は含みません。

（３）（２）で「ブロードバンド回線（５～８）」に１つも○をつけなかった方におたずねします。ブロードバンド回線を導入しない理由は何ですか。次の中から当てはまる番号すべてに○印をつけてください。

１．通信料金が高い	５．自宅であまりインターネットを利用していない
２．回線工事に手間が掛かる	６．現在の回線でも不自由を感じない
３．居住地域においてブロードバンドサービスが提供されていない	７．手続が分からない
４．住宅環境によりブロードバンド回線を導入できない	８．その他（　　　　　　　　　　　）

＜２＞　あなたご自身の情報通信機器の利用状況についておたずねします。

問３．あなたは、次の情報通信機器を利用していますか。次の中から当てはまる番号すべてに○印をつけてください。

１．パソコン	３．ＰＨＳ	５．どれも利用していない
２．携帯電話	４．携帯情報端末（ＰＤＡ）	

問４．インターネットの利用状況についておたずねします。

（１）あなたは、インターネットを利用していますか。次の中から当てはまる番号１つに○印をつけてください。

１．利用している　→（２）へ　　　　２．利用していない　→問６へ

＊：パソコンからの利用のほか、携帯電話、ＰＨＳ、携帯情報端末、ゲーム機等あらゆる機器からの利用を含みます。また、個人的な利用だけでなく、仕事上での利用等あらゆる場合を含みます。

（２）（１）で「１．利用している」を選んだ方におたずねします。使用した場所に関係なく、インターネットをどれくらいの頻度で利用していますか。「パソコン」、「携帯電話」ごとに次の中から当てはまる番号１つに○印をつけてください。

	■パソコン	■携帯電話
１．毎日少なくとも１回は利用	1	1
２．週に少なくとも１回は利用（毎日ではない）	2	2
３．月に少なくとも１回は利用（毎週ではない）	3	3
４．それ以下の頻度（年１回以上の利用はある）	4	4

（３）（１）で「１．利用している」を選んだ方におたずねします。どのような機器でインターネットを利用していますか。次の中から当てはまる番号すべてに○印をつけてください。

１．パソコン　　　　→（４）へ	４．ケーブルテレビ
２．携帯電話・ＰＨＳ→（５）へ	５．インターネット対応型家庭用ゲーム機
３．携帯情報端末（ＰＤＡ）	６．その他（　　　　　　　　　　）

（４）（３）で「パソコン」を選んだ方におたずねします。パソコンでインターネットを利用した場所はどこですか。次の中から当てはまる番号すべてに○印をつけてください。

１．自宅	４．公共施設	７．ホテル等の宿泊施設
２．学校	５．空港・駅	８．その他（　　　　　　　　　　）
３．職場	６．インターネットカフェ	

（５）（３）で「携帯電話・ＰＨＳ」を選んだ方におたずねします。携帯電話・ＰＨＳのパケット定額料金制サービス*を利用していますか。次の中から当てはまる番号１つに○印をつけてください。

１．利用している
２．利用していないが、今後利用する予定がある
３．利用していないし、今後も利用する予定はない

＊：パケット通信料が、送受信データ量にかかわらず一定となる料金制度のこと。

問５．問４（１）で「１．利用している」を選んだ方におたずねします。どのようなインターネットのサービスを利用していますか。次の中から当てはまる番号すべてに○印をつけてください。

１．電子メール[※⑧]の送受信
２．ホームページの閲覧・情報収集
３．自身のホームページやブログ[※⑨]の作成などによる情報発信
４．ネットショッピング[※⑩]、ネットオークション[※⑪]、チケット購入、ホテルなどの予約
５．ネットバンキング[※⑫]や電子商取引[※⑬]（株取引など）
６．オンラインゲーム[※⑭]への参加
７．音楽・動画・画像のダウンロード[※⑮]
８．電子掲示板[※⑯]への書き込み、チャット[※⑰]
９．クイズ、懸賞への応募やアンケートの回答
10．インターネットでの通信教育受講
11．行政機関への各種申請、申込書などの入手
12．特にない
13．その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）
14．わからない

問６．問４（１）で「２．利用していない」を選んだ方におたずねします。今後インターネットを利用したいと思いますか。次の中から当てはまる番号１つに○印をつけてください。

１．今後利用したいと思う
２．今後も利用したいと思わない
３．わからない

問７．すべての方におたずねします。インターネットを利用していて感じる不安や不満、または利用していない理由は何ですか。次の中から当てはまる番号すべてに○印をつけてください。

１．特に不満は感じていない
２．個人情報の保護に不安がある
３．ウィルスの感染が心配である
４．電子的決済手段の信頼性に不安がある
５．違法・有害情報が氾濫している
６．通信料金が高い
７．パソコンなどの機器が高価すぎる
８．パソコンなどの機器の操作が難しい
９．接続速度が遅い
10．認証技術の信頼性に不安がある
11．情報検索に手間がかかる
12．必要な情報がない
13．利用する必要がない
14．その他（　　　　　　　　　　　　　　　）
15．わからない

＜３＞　鹿児島市からの行政情報の発信についておたずねします。

問８．あなたは、鹿児島市が発信する行政情報を、現在、どのような方法で入手していますか。次の中から当てはまる番号すべてに○印をつけてください。

１．市が発行する広報誌（市民のひろばなど）	６．新聞、タウン情報誌、フリーペーパーなど
２．市のホームページ	７．家族、知人からの口コミ
３．市民便利帳	８．町内会の回覧
４．市役所、公共施設に電話などでの問合せ	９．特に情報を得ていない
５．テレビ、ラジオ	10．その他（　　　　　　　　　　）

問９．あなたが現在必要としている、または関心のある市の情報は、どのような情報ですか。次の中から当てはまる番号すべてに○印をつけてください。

１．各種相談や窓口に関する情報
２．市のイベントに関する情報
３．市民講座に関する情報
４．市の施設に関する情報
５．ボランティア活動に関する情報
６．住民票・年金・税金などの暮らしの情報
７．保健・福祉に関する情報
８．ごみ分別・リサイクルなど環境問題に関する情報
９．防災・防犯に関する情報
10．入札・工事に関する情報
11．観光に関する情報
12．国際交流に関する情報
13．教育・文化に関する情報
14．市の経済・産業に関する情報
15．市の統計・調査に関する情報
16．市の施策や計画に関する情報
17．市の財政や組織などに関する情報
18．市議会に関する情報
19．公営企業（市立病院、市電・市バス、水道・下水道、桜島フェリー）に関する情報
20．特にない
21．その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）
22．わからない

問 10. あなたは、鹿児島市のホームページを見たことがありますか。「パソコン」、「携帯電話」ごとに次の中から当てはまる番号１つに〇印をつけてください。

■パソコン版（http://www.city.kagoshima.lg.jp）

■携帯電話版（http://www.city.kagoshima.lg.jp/mobile.nsf）

	■パソコン	■携帯電話
１．ある	1	1
２．ない	2	2

問 11. 問 10 で「１．ある」を選んだ方におたずねします。鹿児島市のホームページに対する評価をパソコン版、携帯電話版ごとにお聞かせください。

（１）「パソコン版ホームページ」を見たことがある方におたずねします。ホームページの満足度について、次の中から当てはまる番号１つに〇印をつけてください。

１．満足　２．やや満足　３．普通　４．やや不満　５．不満

（２）（１）で「４．やや不満」、「５．不満」を選んだ方におたずねします。満足できない理由は何ですか。次の中から当てはまる番号すべてに〇印をつけてください。

１．最新の情報がない　４．情報がどこにあるか分からない
２．必要な情報がない　５．みづらい
３．興味のある情報がない　６．その他（　　　　）

（３）「携帯電話版ホームページ」を見たことがある方におたずねします。ホームページの満足度について、次の中から当てはまる番号１つに〇印をつけてください。

１．満足　２．やや満足　３．普通　４．やや不満　５．不満

（４）（３）で「４．やや不満」、「５．不満」を選んだ方におたずねします。満足できない理由は何ですか。次の中から当てはまる番号すべてに〇印をつけてください。

１．最新の情報がない　４．情報がどこにあるか分からない
２．必要な情報がない　５．みづらい
３．興味のある情報がない　６．その他（　　　　）

＜４＞ 鹿児島市が行う情報化への取組についておたずねします。

問 12. 鹿児島市では情報化による市民サービスの向上を目指しています。あなたは、どのような施策に力を入れるべきだと思いますか。次の中から当てはまる番号３つに〇印をつけてください。

１．インターネットによる申請届出などの手続の充実
２．電子マネー※⑱による税、使用料、手数料等の支払い
３．インターネットによる地図情報（公共施設の位置、都市計画情報など）の提供
４．健康・医療・福祉サービスの充実
（子育てに関する情報提供、高齢者向けの緊急通報システムなど）
５．教育の情報化・生涯学習の充実
（情報通信ネットワークを活用した授業の実施、パソコン講座の充実など）
６．地域コミュニティ活動支援
（市民参画への情報活用、電子会議室、地域ポータルサイト※⑲の開設など）
７．経済・文化の活性化（中小企業への情報化支援、文化・スポーツ情報の提供など）
８．情報の安全対策の充実（個人情報保護、情報セキュリティ、ネット犯罪対策など）
９．電子投票（従来の手書きによる投票に代わる電子機器を利用した投票方法）の実施
10. 行政情報メールマガジン（電子メールを利用して発行される雑誌）の発行
11. 特にない
12. その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）
13. わからない

問 13. あなたは、情報化が進むことに対して、どのような不満や不安を感じることがありますか。次の中から当てはまる番号すべてに〇印をつけてください。

１．パソコンなどを利用できる人と、できない人との間に格差が生じる
２．個人情報が漏えいしプライバシーが侵される
３．ネットワーク犯罪が増加する
４．子どもが教育上好ましくない情報に接する
５．人と人とのふれあいが少なくなる
６．情報が氾濫し、振り回される
７．パソコンなどを使うことでストレスがたまる
８．情報通信技術の進展のスピードが速くてついていけない
９．新しい機器の購入やサービスの加入など経済的負担が増加する
10. 特に不満・不安はない
11. その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）
12. わからない

問 14. 鹿児島市の情報化施策についてご意見・ご要望がありましたらご自由にお書きください。

※　　　※　　　※　　　※

質問は以上です、ご協力ありがとうございました。

お手数ですが、このアンケート用紙を同封してある返信用封筒に入れ、９月１４日(木)までにご投函ください。

【 地域区分と所属町丁目の対照表 】

番 号	地 域 区 分	所 属 町 丁 目
1	中 央 地 域	名山、平之、東千石、西千石、中、金生、照国、泉、住吉、堀江、大黒、呉服、新、船津、城南、松原、南林寺、甲突、錦江、新屋敷、樋之口、山之口、千日、加治屋、中央、上之園、上荒田
2	上 町 地 域	坂元、西坂元、東坂元１～４丁目、清水、祇園之州、皷川、池之上、稲荷、春日、柳、浜、上竜尾、下竜尾、冷水、長田、大竜、上本、小川、易居、本港新、山下、城山、玉里団地１～３丁目、若葉
3	鴨 池 地 域	高麗、荒田１～２丁目、与次郎１～２丁目、下荒田１～４丁目、天保山、鴨池新、鴨池１～２丁目、唐湊３～４丁目、郡元、郡元１～３丁目、南郡元、東郡元、真砂、真砂本、三和、紫原１～６丁目、西紫原、南新、日之出、宇宿、宇宿１～５丁目、新栄
4	城 西 地 域	城山１～２丁目、新照院、草牟田、草牟田１～２丁目、玉里、永吉１～３丁目、明和１～５丁目、原良、薬師１～２丁目、城西１～３丁目、鷹師１～２丁目、常盤、西田１～３丁目
5	武・田上地域	武１～３丁目、唐湊１～２丁目、紫原７丁目、田上、田上１～８丁目、田上台１～４丁目、西別府、武岡１～６丁目、西陵１～８丁目
6	谷山北部地域	五ヶ別府、山田、皇徳寺台１～５丁目、中山、中山１～２丁目、桜ヶ丘１～８丁目、小原、魚見、星ヶ峯１～６丁目、東谷山１～７丁目、希望ヶ丘、自由ヶ丘１～２丁目、小松原１～２丁目、東開、清和１～２丁目
7	谷 山 地 域	上福元、谷山塩屋、下福元、和田、和田１～２丁目、谷山中央１～７丁目、慈眼寺、錦江台１～３丁目、平川、卸本、南栄１～６丁目、谷山港１～３丁目、七ツ島１～２丁目、
8	伊 敷 地 域	伊敷、伊敷１～８丁目、伊敷台１～７丁目、西伊敷１～７丁目、千年１～２丁目、下伊敷、下伊敷１～３丁目、小野、小野１～４丁目、犬迫、小山田、皆与志、花野光ヶ丘１～２丁目
9	吉 野 地 域	岡之原、緑ヶ丘、川上、下田、吉野、大明ヶ丘１～３丁目
10	東 桜 島 地 域	野尻、持木、東桜島、古里、有村、黒神、高免
11	吉 田 地 域	東佐多、西佐多、本城、本名、宮之浦、牟礼岡１～３丁目
12	桜 島 地 域	桜島赤水、新島町、桜島横山、桜島小池、桜島赤生原、桜島武 桜島藤野、桜島西道、桜島松浦、桜島二俣、桜島白浜
13	喜 入 地 域	喜入瀬々串、喜入中名、喜入、喜入一倉、喜入前之浜、喜入生見
14	松 元 地 域	上谷口、福山、直木、入佐、春山、石谷、松陽台、四元、平田
15	郡 山 地 域	郡山岳、有屋田、西俣、郡山、油須木、花尾、 東俣、川田

【用語説明】

用語	説明
※①携帯電話・ＰＨＳ	携帯可能な小型の電話機。音声通話専用のものと、音声通話だけでなく、インターネットに対応できるものがある。
※②第３世代携帯電話	ＮＴＴＤｃＣｏＭｏの「ＦＯＭＡ」、ａｕの「ＣＤＭＡ　１Ｘ」、「ＣＤＭＡ１Ｘ　ＷＩＮ」、ｖｏｄａｆｏｎｅの「７００」シリーズ以上などが該当する。
※③携帯情報端末（ＰＤＡ）	日常的に持ち歩くことを想定して設計された小型のコンピュータ。個人情報等を管理する電子手帳の機能に加えて、パソコンと連携することでデータベースとしての機能を持つものが多い。なお、ノートパソコンは含まない。
※④カーナビゲーションシステム	衛星からの信号で自動車の位置を判別し、進行方向などをＣＤ－ＲＯＭやＤＶＤ－ＲＯＭソフトの再生による地図画面上に表示するシステムのこと。
※⑤ＩＳＤＮ回線	Integrated Services Digital Network の略。総合デジタル通信サービス。電話、データ通信等のサービスを統合的に取り扱うデジタル通信網。
※⑥光回線（ＦＴＴＨ）	Fiber To The Home の略。各家庭まで光ファイバケーブルを敷設することにより、数10～最大100Mbps 程度の超高速インターネットアクセスが可能。
※⑦ＡＤＳＬ回線	既存の電話回線を利用して高速伝送を可能にする技術で高速インターネット接続が可能なもの。数 Mbps から数十 Mbps 程度の高速インターネットアクセスが可能。
※⑧電子メール	文書の宛名（電子メールアドレス）を指定して、相手に文書を送信するもの。
※⑨ブログ	Weblog（ウェブログ）の略。ホームページよりも簡単に個人のページを作成し、公開できる。個人的な日記や個人のニュースサイトなどが作成・公開されている。
※⑩ネットショッピング	インターネット上に開設した店舗（店舗サイト）を利用して買い物をすること。
※⑪ネットオークション	インターネット上で物品の売買をしようとする者のあっせんをオークションの方法により行うサービス。
※⑫ネットバンキング	インターネット上に開設されたサイトを利用して、振込・残高照会等、各種銀行手続を行うこと。
※⑬電子商取引	インターネットを用いて財やサービスの受発注を行う商取引等の総体のこと。
※⑭オンラインゲーム	ネットワークを介して複数の人が同時に参加・利用できるコンピュータゲーム。
※⑮ダウンロード	ネットワーク上の他のコンピュータにあるデータ等を、自分のコンピュータへ転送し、自分のコンピュータに保存すること。
※⑯電子掲示板	インターネット上に開設された掲示板。様々な利用者によって電子化された掲示情報の書込みや閲覧をすることが可能。
※⑰チャット	インターネットを利用して、リアルタイムで文字をタイプし、会話をすること。
※⑱電子マネー	インターネット上の電子商取引等で利用される、貨幣価値を電子化したものの総称。
※⑲地域ポータルサイト	入り口や窓口として情報提供等を行うウェブサイトのことで、インターネットを通じて地域のイベント情報や生活情報などを、官民を問わず一元的に提供するサイト。